

令和4年度観光地域動向調査事業
「しまなみ海道を中心とした観光動向に関する調査事業」

報告書

令和5年3月

中国運輸局

目 次

I 業務概要.....	1
1. 業務目的.....	1
2. 業務内容.....	1
II 関係者連絡会の開催.....	2
1. 第1回連絡会.....	2
2. 第2回連絡会.....	3
3. 第3回連絡会.....	4
III 旅行者向けアンケート調査.....	5
1. 調査概要.....	5
2. 回答者属性.....	6
3. 訪問目的.....	7
4. しまなみ海道での移動手段.....	9
5. 同行者.....	11
6. 情報認知経路.....	13
7. 訪問・宿泊経験.....	16
8. 周遊訪問地域.....	20
9. しまなみ海道地域の観光資源の評価.....	23
10. 再訪意向.....	31
11. 自由記述（再訪意向の理由）.....	32
IV しまなみ海道地域内観光事業者向けアンケート調査.....	33
1. 調査概要.....	33
2. 回答者属性.....	34
3. しまなみ海道の魅力.....	35
4. 来訪者の範囲.....	38
5. 繁忙期・閑散期.....	40
6. コロナ後の観光振興の方向性.....	41
V しまなみ海道の関係者向けヒアリング調査.....	42
1. 調査対象・実施日時.....	42
2. 結果概要.....	42
VI 今後の方策提案.....	47

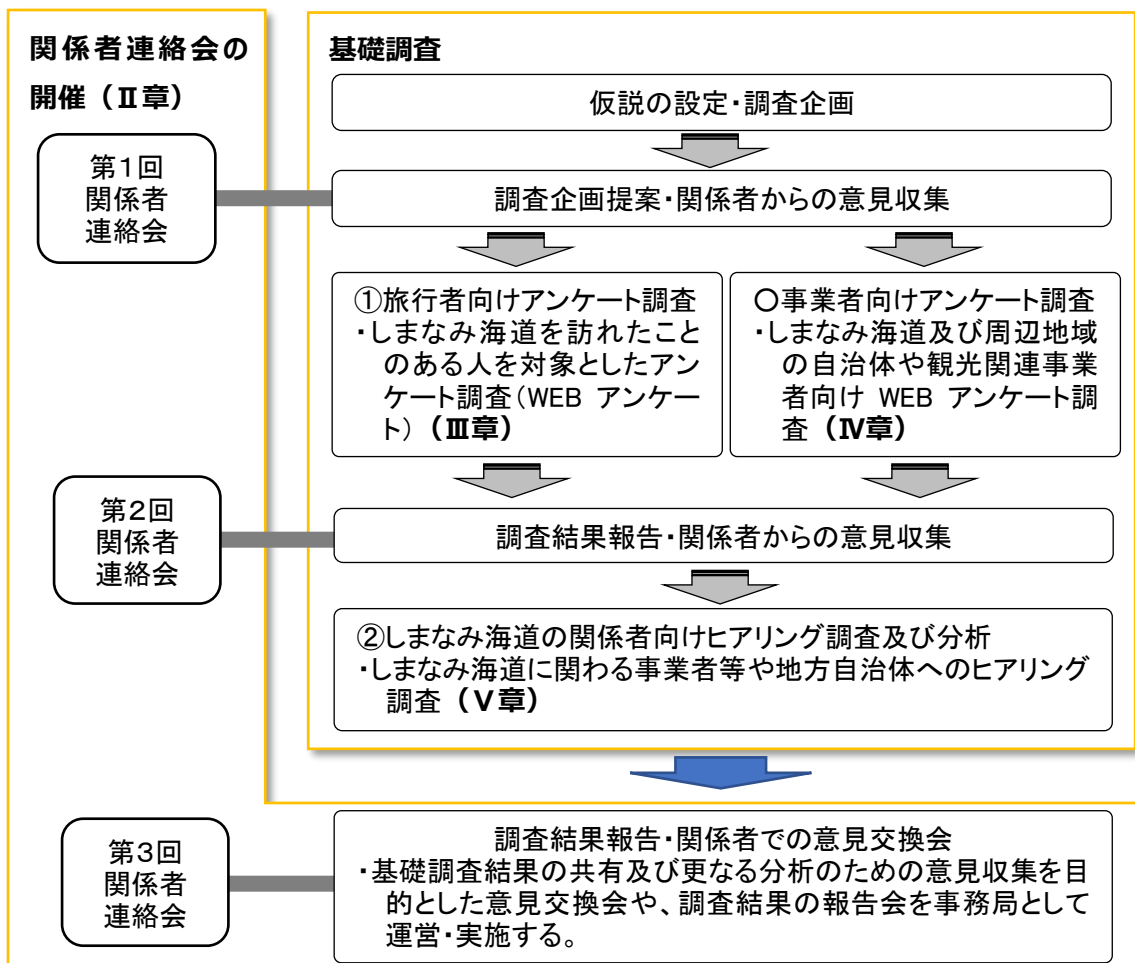
I 業務概要

1. 業務目的

新型コロナウイルス感染症の影響により、昨今旅行者の趣向にも変化が生じており、中でもとりわけ「密」を避けたアウトドアアクティビティは注目されている。こうした状況の中、しまなみ海道における自転車の旅は、新型コロナウイルス感染症の影響下において、旅行者の趣向と合致しており、引き続き注目されているところである。また、こうしたサイクル・ツーリズムに加えて、しまなみ海道の起点及び終着点である尾道やしまなみ海道の数々の島々は、サイクリストはもちろん、サイクリング以外でしまなみ海道を訪れる多くの人々をも魅了する食や景色等の観光資源を持ち合わせている。

本調査事業は、上記のような状況を踏まえ、しまなみ海道とその関連地域の観光動向を調査し、しまなみ海道の現状及び課題、そして解決の方向性を調査するとともに、しまなみ海道の来訪者を他地域へ誘導する手法を模索し、中国地方における消費額及び宿泊日数の課題を解決する一助とするものである。

2. 業務内容



II 関係者連絡会の開催

1. 第1回連絡会

○日時 令和4年8月29日(月) 13:00~15:00

○場所 中国運輸局 因島海事事務所 会議室

○出席者 (順不同、敬称略)

No.	所属	役職	氏名
1	尾道市 産業部 観光課	課長	山本 淳
2	一般社団法人広島県観光連盟 受入環境グループ	グループリーダー	西田 恵
3	一般社団法人広島県観光連盟 プロダクト開発グループ	流通・販売担当 主査	武本 苑子
4	一般社団法人しまなみジャパン	専務理事	坂本 大蔵
5	一般社団法人しまなみジャパン	事務局長 レンタサイクル事業部長	越智 教朝
6	公益財団法人中国地域創造研究センター 調査・研究部	みらい創造グループ長 主席研究員	吉原 俊朗
7	中国運輸局 観光部 観光企画課	主査	田村 荘至
8	中国運輸局 観光部 観光企画課	係員	川村 美笑

○議題

観光客アンケートの調査対象について
観光客アンケートの調査項目について
自治体・事業者アンケートについて
その他、しまなみ海道の今後の方向性について

2. 第2回連絡会

○日 時 令和4年12月2日(金) 14:00~16:00

○場 所 尾道市役所2階 多目的スペース3

○出席者 (順不同、敬称略)

No.	所属	役職	氏名
1	尾道市 産業部 観光課	課長	山本 淳
2	尾道市 産業部 観光課	観光係長	岩田 勉
3	一般社団法人広島県観光連盟 受入環境グループ	グループリーダー	西田 恵
4	一般社団法人広島県観光連盟 プロダクト開発グループ	流通・販売担当 主査	武本 苑子
5	一般社団法人しまなみジャパン	専務理事	坂本 大蔵
6	一般社団法人しまなみジャパン	事務局長 レンタサイクル事業部長	越智 教朝
7	公益財団法人中国地域創造研究センター 調査・研究部	みらい創造グループ長 主席研究員	吉原 俊朗
8	中国運輸局 観光部 観光企画課	主査	田村 荘至
9	中国運輸局 観光部 観光企画課	係員	川村 美笑

○議題

アンケート調査調査結果について
ヒアリング対象者について

3. 第3回連絡会

○日時 令和5年2月22日(水) 10:00~12:00

○場所 尾道市役所2階 多目的スペース3

○出席者 (順不同、敬称略)

No.	所属	役職	氏名
1	尾道市 産業部 観光課	課長	山本 淳
2	一般社団法人広島県観光連盟 受入環境グループ	グループリーダー	西田 恵
3	一般社団法人広島県観光連盟 プロダクト開発グループ	流通・販売担当 主査	武本 苑子
4	一般社団法人しまなみジャパン	事務局長 レンタサイクル事業部長	越智 教朝
5	公益財団法人中国地域創造研究センター 調査・研究部	みらい創造グループ長 主席研究員	吉原 俊朗
6	中国運輸局 観光部 観光企画課	課長	遠北 俊貴
7	中国運輸局 観光部 観光企画課	主査	田村 荘至
8	中国運輸局 観光部 観光企画課	係員	川村 美笑

○議題

ヒアリング調査結果報告及び今後の方策提案について

Ⅲ 旅行者向けアンケート調査

1. 調査概要

(1) 目的

しまなみ海道の来訪経験者を対象に、観光客の年齢層、居住地、来訪先、旅程、宿泊先、消費額、消費対象等について把握するWEBアンケート調査を実施し、しまなみ海道の来訪者の特徴を把握する。

(2) 対象者

しまなみ海道を訪れたことのある日本人 600 人対象

※しまなみ海道の島へ渡ったことがある人を対象。島に渡らず、尾道市中心部・今治市中心部のみを訪れた場合は除く。

※居住地は関東～中四国（北海道・東北・九州を除く）

※広島県尾道市、愛媛県今治市・上島町に在住の方は対象外。

(年代別・性別割り付け) 男女同数

	29 歳以下	30～49 歳	50 歳以上	合計
男性	100	100	100	300
女性	100	100	100	300
合計	200	200	200	600

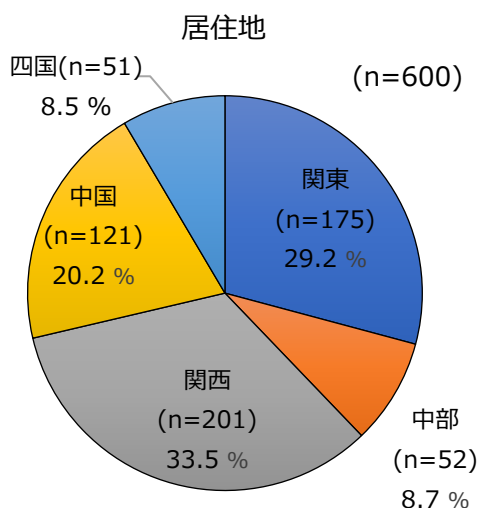
(3) 実施日

2022 年 9 月 30 日～10 月 3 日

2. 回答者属性

(1) 居住地

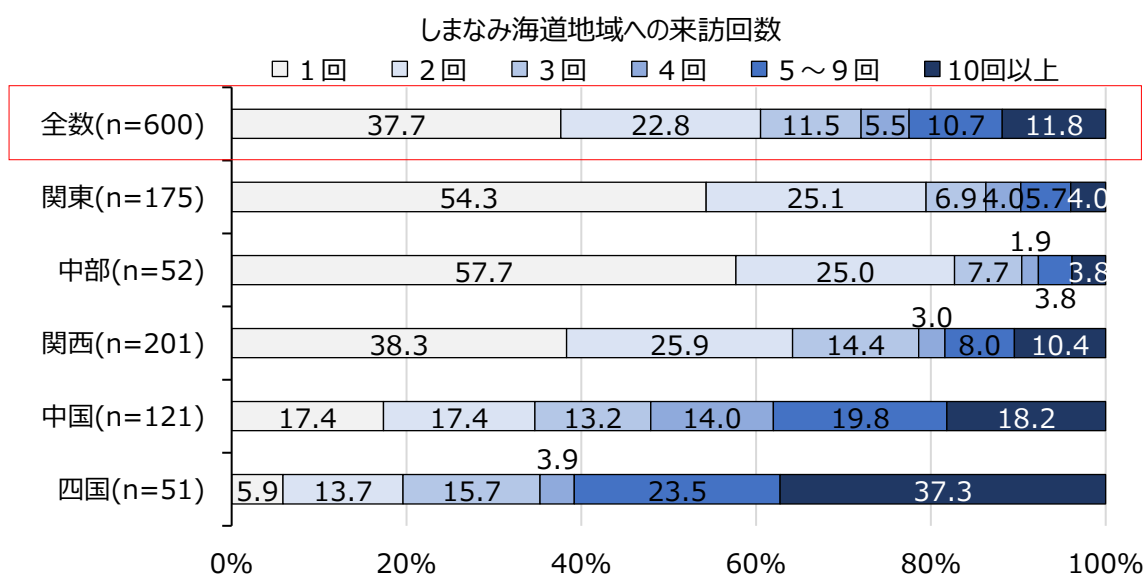
調査対象を関東～中四国に絞り（北海道・東北・九州を除く）、しまなみ海道の来訪経験者サンプルを収集したところ、関西地方が3割強、関東地方が約3割、中国地方が約2割、中部、四国がそれぞれ1割弱という構成となった。以降、以下の地方単位で居住地別分析を行う。



関東 (175)	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
中部 (52)	新潟県、山梨県、長野県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
関西 (201)	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国 (121)	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国 (51)	徳島県、香川県、愛媛県、高知県

(2) しまなみ海道への来訪回数

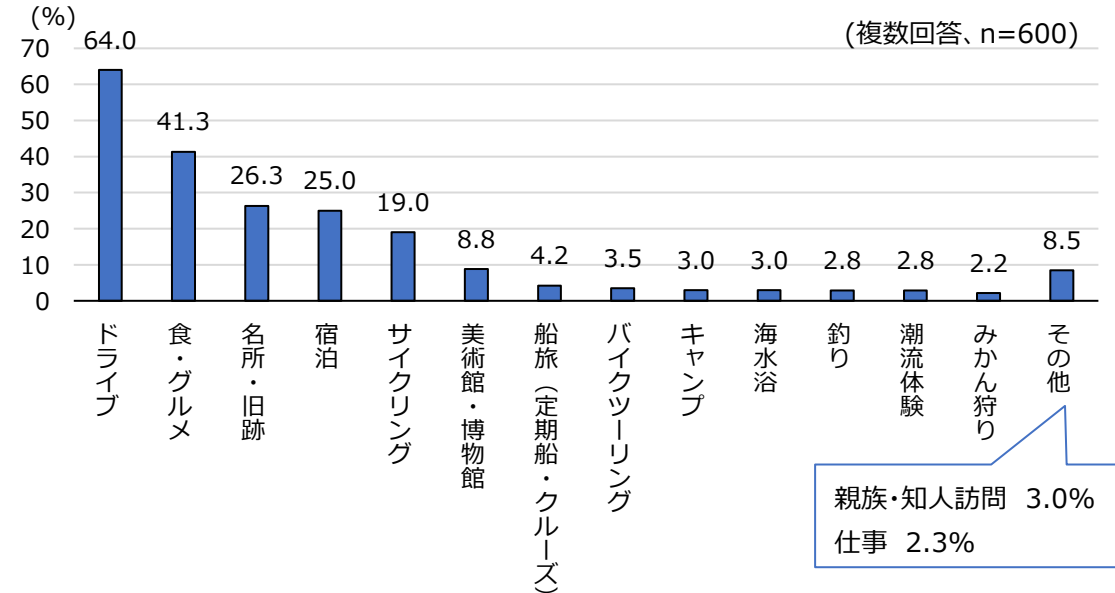
これまでにしまなみ海道を訪れた回数を聞いたところ、来訪回数 1 回が4割弱、2～4回を合わせると4割弱、5回以上が2割強となっており、居住地別に見ると四国地方では5回以上の割合が半数を超え、リピーターの割合が最も多く、次いで中国地方、関西地方、関東地方、中部地方の順となっている。



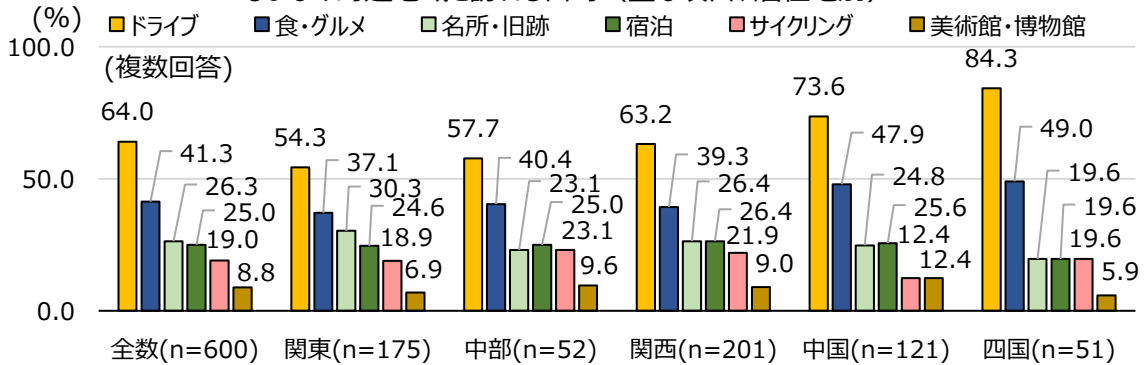
3. 訪問目的

訪問目的は「ドライブ」が 64%と最も多く、次いで「食・グルメ」が 41%と多かった。サイクリングは 19%であるが、若年層女性では 29%と高くなっている。

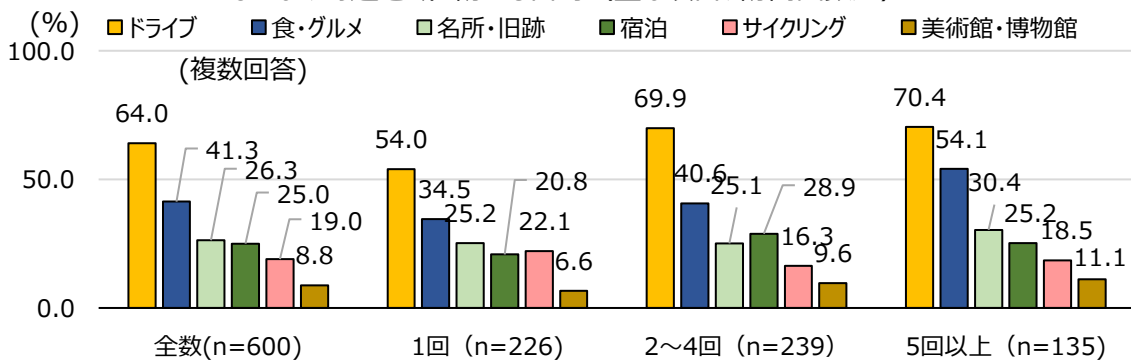
しまなみ海道地域を訪れる目的



しまなみ海道地域を訪れる目的 (主な項目、居住地別)



しまなみ海道地域を訪れる目的 (主な項目、訪問回数別)



しまなみ海道地域を訪れる目的（性別、年代別表、単位：％）

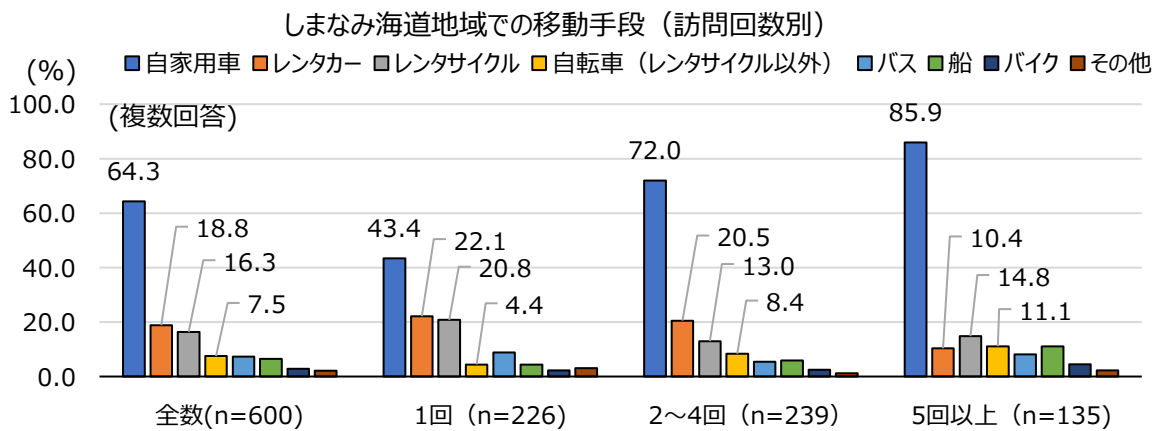
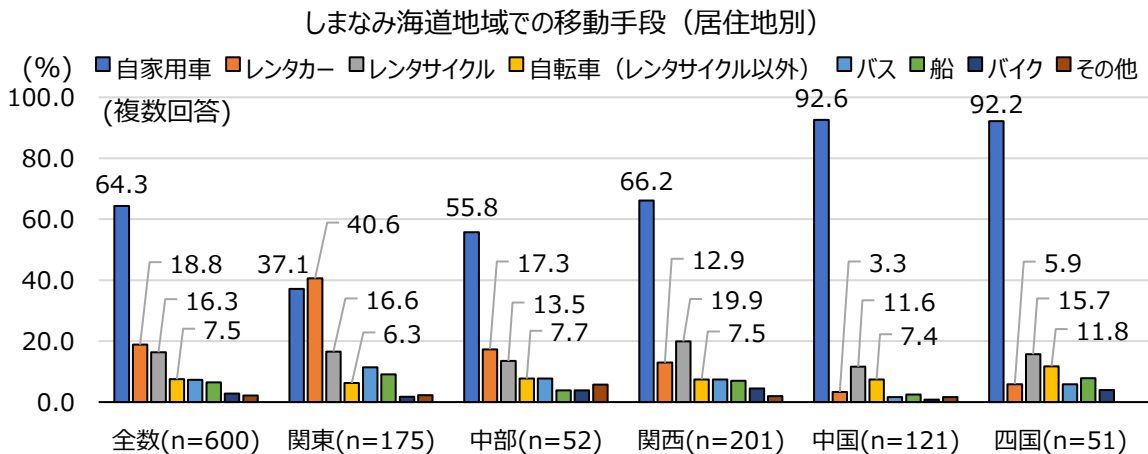
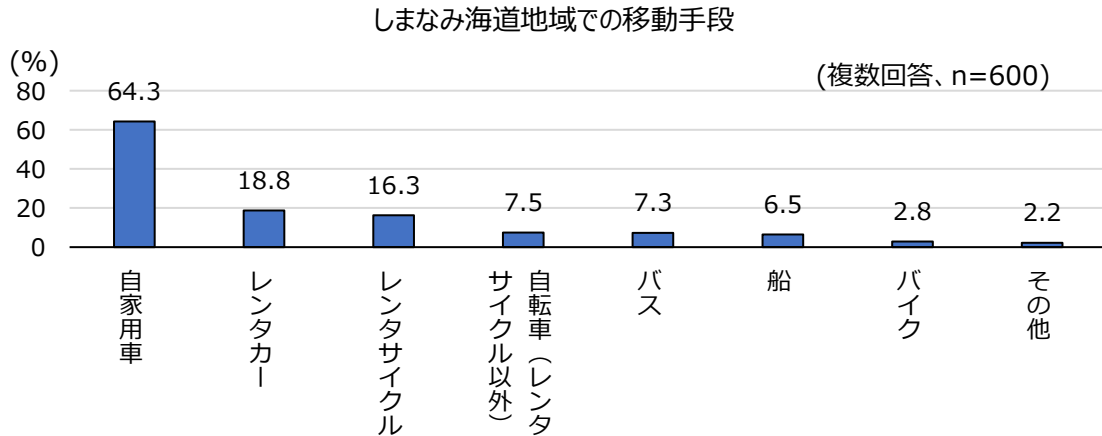
		n	ドライブ	食・グルメ	名所・旧跡	宿泊	サイクリング	美術館・博物館	船旅（定期船・クルーズ）
全体		600	64.0	41.3	26.3	25.0	19.0	8.8	4.2
性別	男性	300	64.7	38.0	26.0	24.3	19.7	8.0	4.7
	女性	300	63.3	44.7	26.7	25.7	18.3	9.7	3.7
年代	～29歳	200	58.5	41.0	20.5	25.5	26.5	7.0	4.5
	30～49歳	200	68.5	48.0	25.5	20.0	18.5	6.0	3.5
	50歳～	200	65.0	35.0	33.0	29.5	12.0	13.5	4.5
性年代	男性～29歳	100	58.0	37.0	22.0	22.0	24.0	9.0	5.0
	男性30～49歳	100	67.0	45.0	23.0	22.0	20.0	3.0	4.0
	男性50歳～	100	69.0	32.0	33.0	29.0	15.0	12.0	5.0
	女性～29歳	100	59.0	45.0	19.0	29.0	29.0	5.0	4.0
	女性30～49歳	100	70.0	51.0	28.0	18.0	17.0	9.0	3.0
	女性50歳～	100	61.0	38.0	33.0	30.0	9.0	15.0	4.0

		n	バイクツーリング	キャンプ	海水浴	釣り	潮流体験	みかん狩り	その他
全体		600	3.5	3.0	3.0	2.8	2.8	2.2	8.5
性別	男性	300	5.7	3.7	2.3	2.3	1.3	3.3	8.7
	女性	300	1.3	2.3	3.7	3.3	4.3	1.0	8.3
年代	～29歳	200	2.5	1.5	3.0	1.5	3.0	1.0	4.5
	30～49歳	200	6.0	5.0	3.0	4.0	2.5	2.0	10.0
	50歳～	200	2.0	2.5	3.0	3.0	3.0	3.5	11.0
性年代	男性～29歳	100	4.0	1.0	1.0	1.0	2.0	2.0	1.0
	男性30～49歳	100	12.0	7.0	2.0	5.0	1.0	1.0	12.0
	男性50歳～	100	1.0	3.0	4.0	1.0	1.0	7.0	13.0
	女性～29歳	100	1.0	2.0	5.0	2.0	4.0	0.0	8.0
	女性30～49歳	100	0.0	3.0	4.0	3.0	4.0	3.0	8.0
	女性50歳～	100	3.0	2.0	2.0	5.0	5.0	0.0	9.0

* ■は全体よりも+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

4. しまなみ海道での移動手段

移動手段は「自家用車」が6割以上と最も多く、中国、四国地方在住者では9割以上が「自家用車」と回答している。関東地方在住者は「レンタカー」利用が4割と最も多いことも特徴として挙げられる。



しまなみ海道地域での移動手段（性年齢別）

		n	自家用車	レンタカー	レンタサイクル 外	自転車 (レンタサイクル以 外)	バス	船	バイク	その他
全体		600	64.3	18.8	16.3	7.5	7.3	6.5	2.8	2.2
性別	男性	300	63.0	20.3	14.3	10.0	6.0	6.0	5.0	2.0
	女性	300	65.7	17.3	18.3	5.0	8.7	7.0	0.7	2.3
年代	～29歳	200	56.5	22.0	22.0	10.5	3.5	5.5	2.0	1.5
	30～49歳	200	68.5	15.5	18.0	6.5	6.0	5.5	5.0	2.0
	50歳～	200	68.0	19.0	9.0	5.5	12.5	8.5	1.5	3.0
性年代	男性～29歳	100	54.0	25.0	17.0	13.0	4.0	5.0	4.0	1.0
	男性30～49歳	100	66.0	13.0	17.0	9.0	4.0	4.0	10.0	3.0
	男性50歳～	100	69.0	23.0	9.0	8.0	10.0	9.0	1.0	2.0
	女性～29歳	100	59.0	19.0	27.0	8.0	3.0	6.0	0.0	2.0
	女性30～49歳	100	71.0	18.0	19.0	4.0	8.0	7.0	0.0	1.0
	女性50歳～	100	67.0	15.0	9.0	3.0	15.0	8.0	2.0	4.0

* ■は全体よりも+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

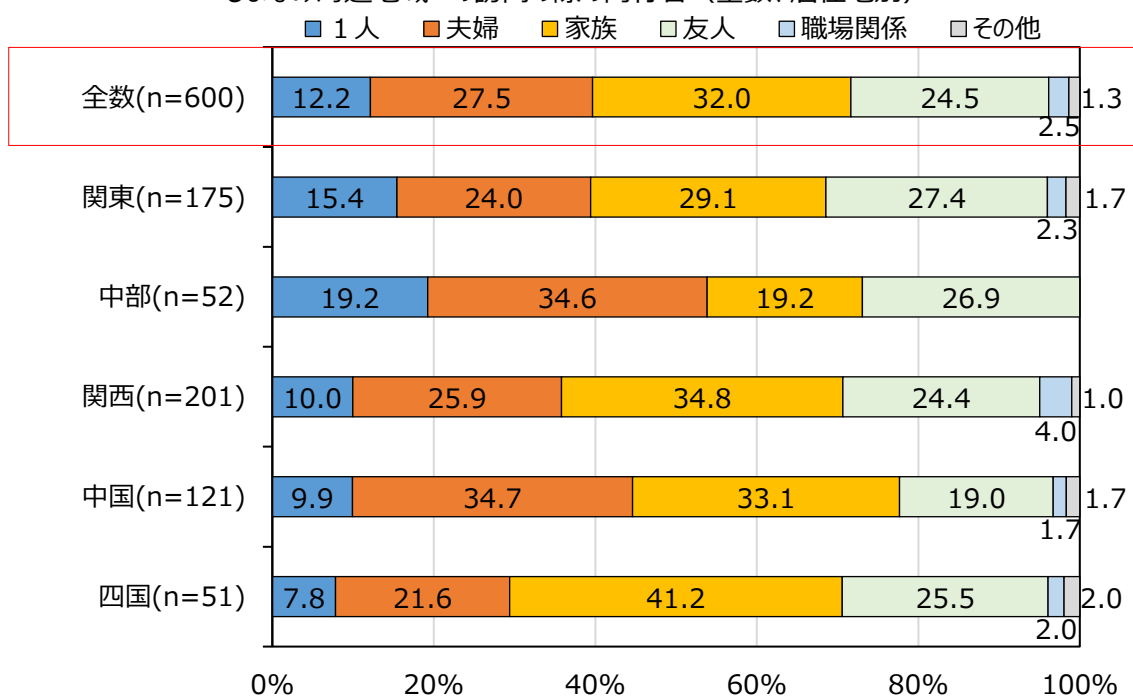
5. 同行者

同行者は「夫婦」「家族」で全体の約6割を占め、30～40歳代は「家族」が最も多く、50代以上では「夫婦」が最も多い。

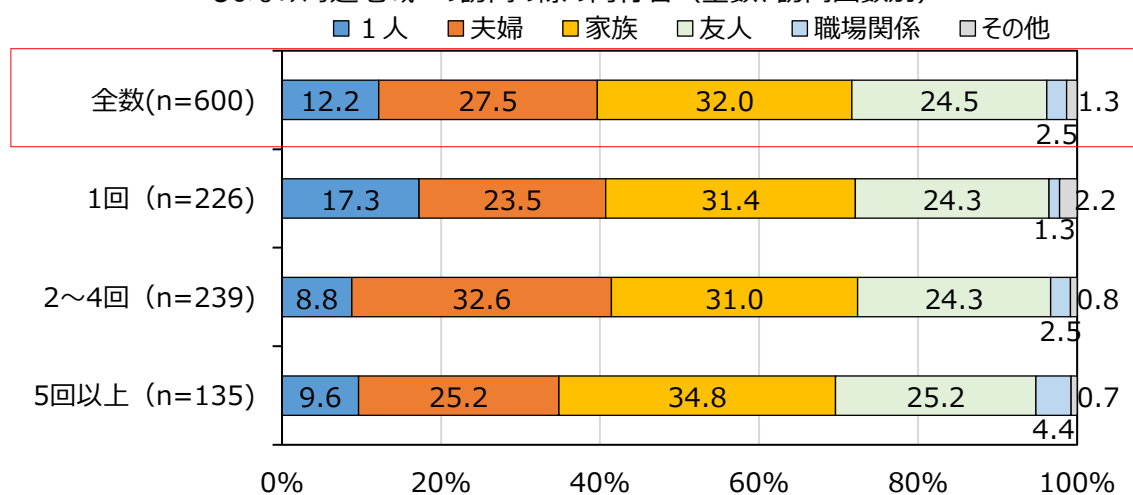
「友人」は全体の24.5%であるが、若年層では42.0%と最も多くなっている。

1人旅は全体の12.2%であり、男性に限ると19.3%と多い。また、女性層、中国四国在住者、及び2回目以上のリピーターでは、やや1人旅の割合が下がっている。

しまなみ海道地域への訪問の際の同行者（全数、居住地別）



しまなみ海道地域への訪問の際の同行者（全数、訪問回数別）



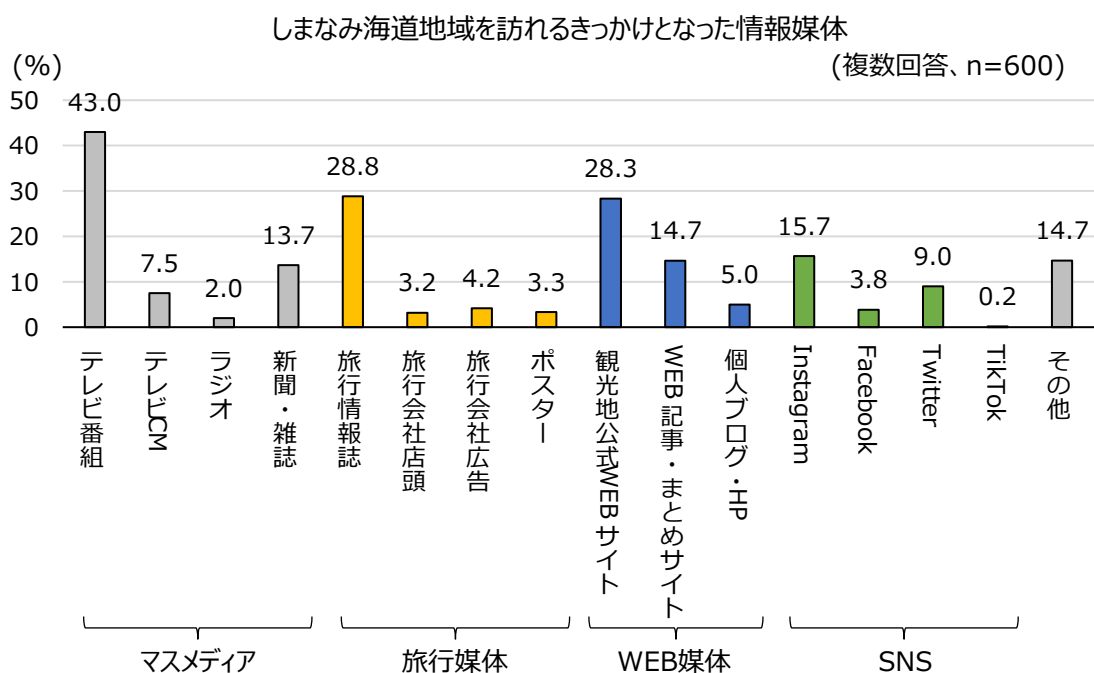
しまなみ海道地域への訪問の際の同行者（性年齢別）

		n	1人	夫婦	家族	友人	職場関係	その他
全体		600	12.2	27.5	32.0	24.5	2.5	1.3
性別	男性	300	19.3	26.0	26.7	24.3	3.3	0.3
	女性	300	5.0	29.0	37.3	24.7	1.7	2.3
年代	～29歳	200	14.0	18.0	22.5	42.0	1.0	2.5
	30～49歳	200	10.5	23.0	42.5	19.0	4.0	1.0
	50歳～	200	12.0	41.5	31.0	12.5	2.5	0.5
性年代	男性～29歳	100	22.0	15.0	16.0	45.0	1.0	1.0
	男性30～49歳	100	20.0	18.0	40.0	17.0	5.0	0.0
	男性50歳～	100	16.0	45.0	24.0	11.0	4.0	0.0
	女性～29歳	100	6.0	21.0	29.0	39.0	1.0	4.0
	女性30～49歳	100	1.0	28.0	45.0	21.0	3.0	2.0
	女性50歳～	100	8.0	38.0	38.0	14.0	1.0	1.0

* ■は全体よりも+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

6. 情報認知経路

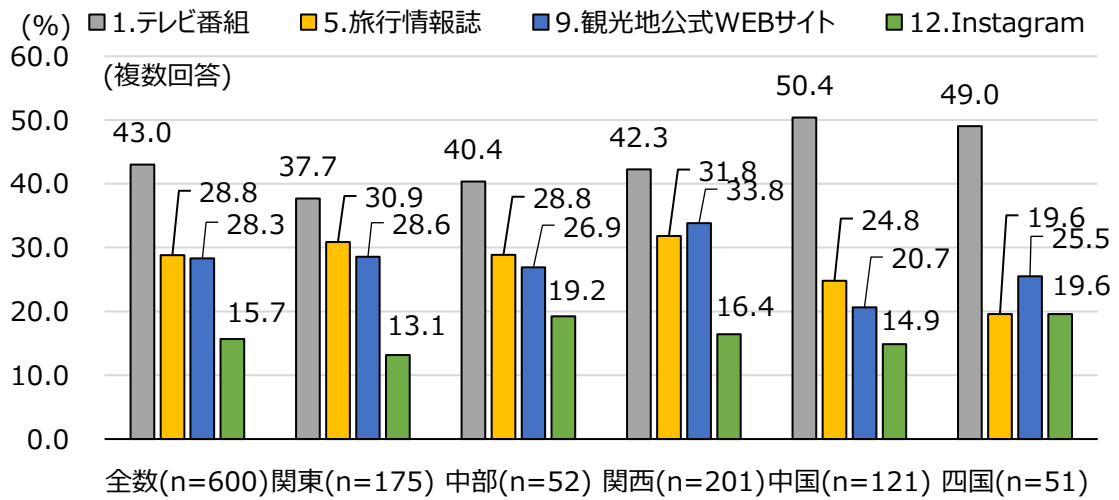
しまなみ海道を訪れるきっかけとなったのは「テレビ番組」が43%と最も多く、特に中高年齢層に対して影響力の大きさがうかがえる。次いで「旅行情報誌」、「観光地公式 WEB サイト」が3割弱となっている。なお「その他」には口コミが7%程度あり、情報媒体ではなく口コミをきっかけに訪れている人もみられる。年齢別に見ると20代ではInstagramが24.5%と多くなっていることが特徴的である。



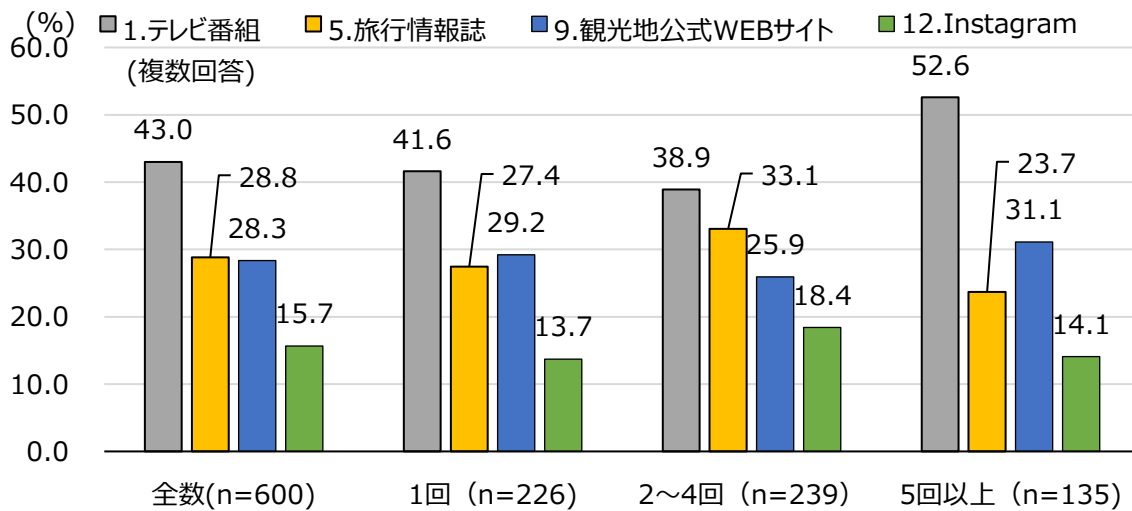
(その他の理由)

記述内容	件数	%
口コミ (家族・親族)	22	3.7
口コミ (友人・知人)	17	2.8
口コミ (その他)	2	0.3
出身地・居住経験有	20	3.3
カーナビ・地図検索	3	0.5
特に無し・分からない	12	2.0

しまなみ海道地域を訪れるきっかけとなった情報媒体（主な項目、居住地別）



しまなみ海道地域を訪れるきっかけとなった情報媒体（主な項目、訪問回数別）



しまなみ海道地域を訪れるきっかけとなった情報媒体（性年齢別）

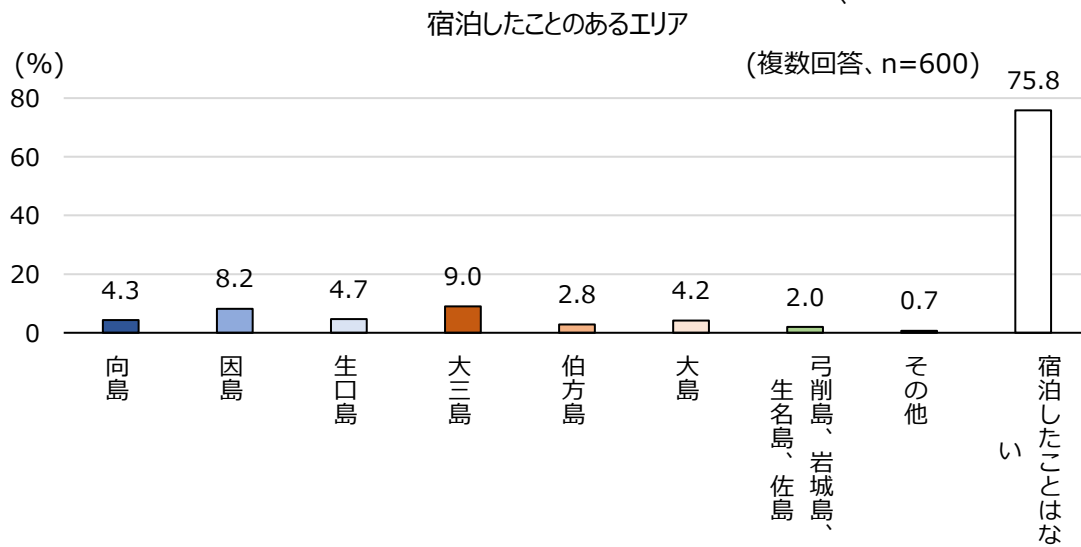
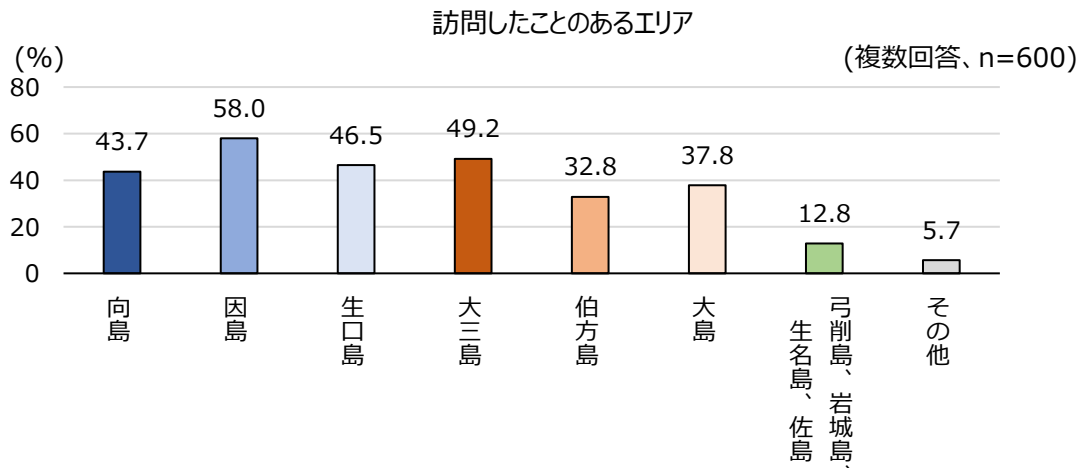
		n	テレビ番組	テレビCM	ラジオ	新聞・雑誌	旅行情報誌	旅行会社店頭	旅行会社広告	ポスター
全体		600	43.0	7.5	2.0	13.7	28.8	3.2	4.2	3.3
性別	男性	300	47.7	8.7	2.7	16.0	26.7	3.0	3.3	3.3
	女性	300	38.3	6.3	1.3	11.3	31.0	3.3	5.0	3.3
年代	～29歳	200	28.0	8.0	2.5	3.0	26.5	4.0	4.0	3.5
	30～49歳	200	48.0	9.0	2.0	13.0	27.0	2.5	2.0	2.0
	50歳～	200	53.0	5.5	1.5	25.0	33.0	3.0	6.5	4.5
性年代	男性～29歳	100	32.0	12.0	2.0	2.0	24.0	4.0	1.0	3.0
	男性30～49歳	100	53.0	9.0	3.0	13.0	23.0	1.0	2.0	1.0
	男性50歳～	100	58.0	5.0	3.0	33.0	33.0	4.0	7.0	6.0
	女性～29歳	100	24.0	4.0	3.0	4.0	29.0	4.0	7.0	4.0
	女性30～49歳	100	43.0	9.0	1.0	13.0	31.0	4.0	2.0	3.0
	女性50歳～	100	48.0	6.0	0.0	17.0	33.0	2.0	6.0	3.0

		n	観光地公式WEBサイト	WEB記事・まとめサイト	個人ブログ・HP	Instagram	Facebook	Twitter	TIKTOK	その他
全体		600	28.3	14.7	5.0	15.7	3.8	9.0	0.2	14.7
性別	男性	300	32.3	16.3	6.0	13.0	3.7	10.0	0.0	10.3
	女性	300	24.3	13.0	4.0	18.3	4.0	8.0	0.3	19.0
年代	～29歳	200	25.0	15.0	4.5	24.5	3.5	14.5	0.5	14.5
	30～49歳	200	26.5	12.5	6.0	17.0	4.5	7.0	0.0	15.0
	50歳～	200	33.5	16.5	4.5	5.5	3.5	5.5	0.0	14.5
性年代	男性～29歳	100	30.0	20.0	6.0	21.0	3.0	16.0	0.0	10.0
	男性30～49歳	100	33.0	11.0	9.0	11.0	3.0	8.0	0.0	7.0
	男性50歳～	100	34.0	18.0	3.0	7.0	5.0	6.0	0.0	14.0
	女性～29歳	100	20.0	10.0	3.0	28.0	4.0	13.0	1.0	19.0
	女性30～49歳	100	20.0	14.0	3.0	23.0	6.0	6.0	0.0	23.0
	女性50歳～	100	33.0	15.0	6.0	4.0	2.0	5.0	0.0	15.0

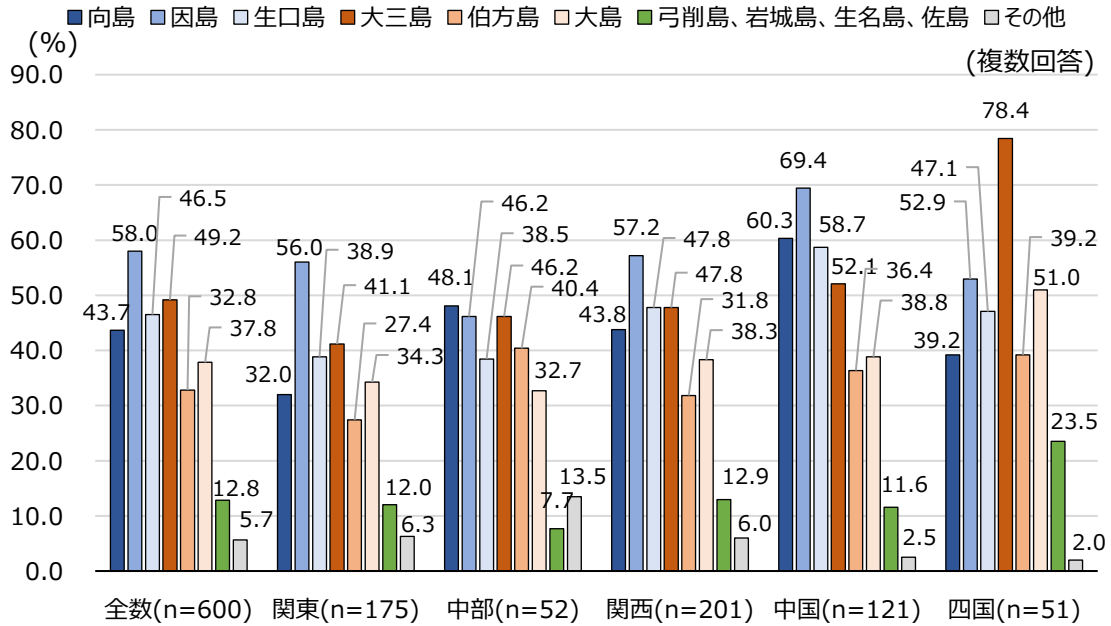
* ■は全体よりも+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

7. 訪問・宿泊経験

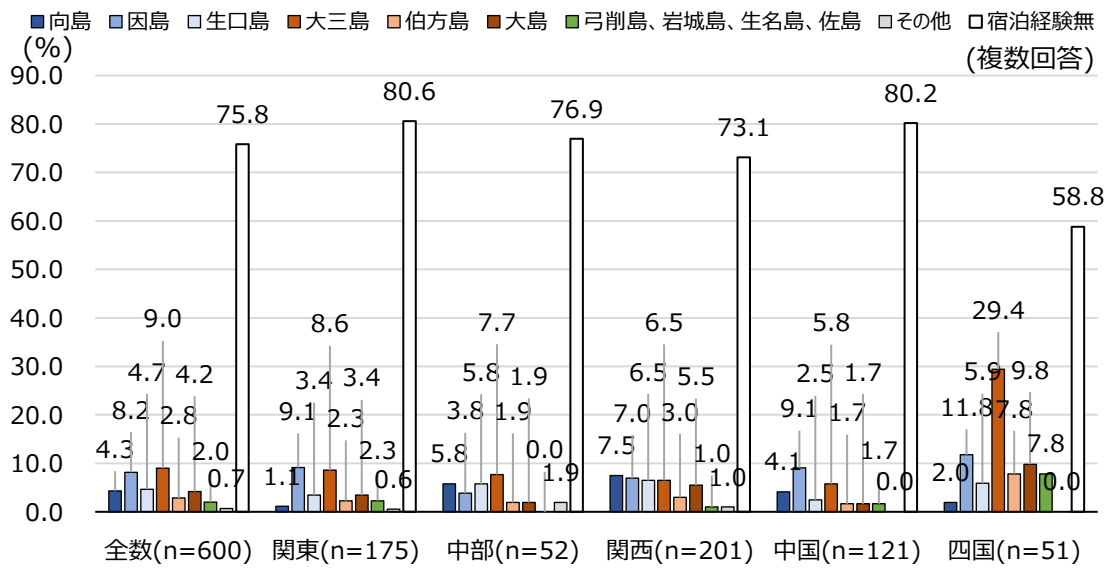
宿泊していない人が 75.8%となっている。また、訪問箇所では因島が最も多く 58%となっており、次いで大三島、生口島、向島、大島、伯方島と、しまなみ海道沿いの各島が3～5割程度の訪問率となっている。訪問回数が増えるほど、訪問経験のあるエリアは多くなっている。



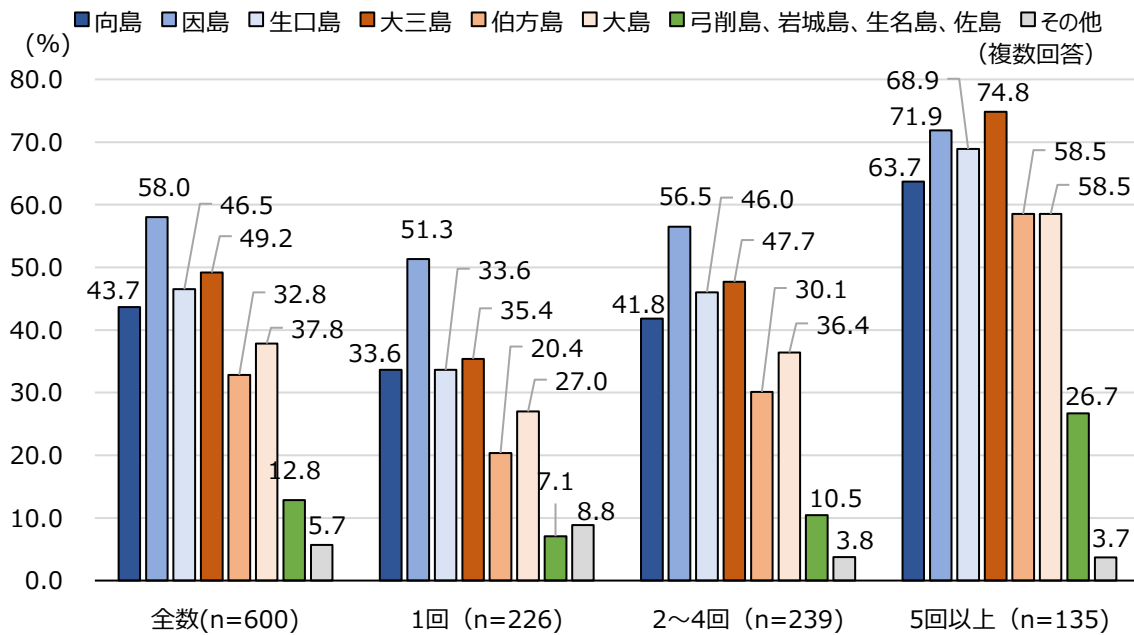
訪問したことのあるエリア（居住地別）



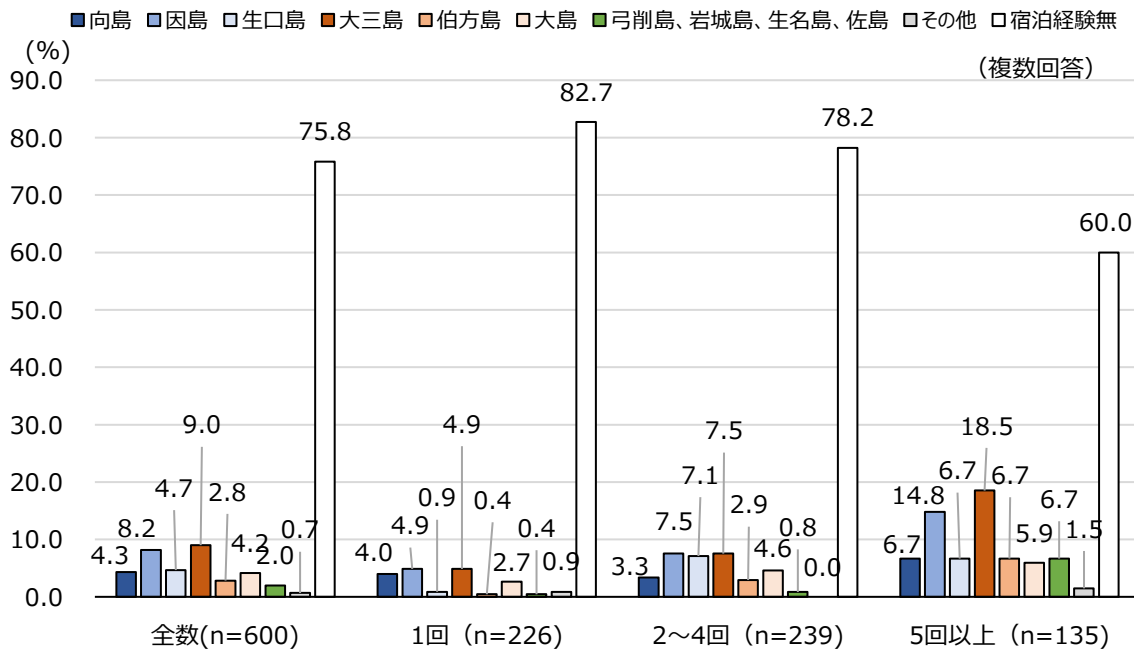
宿泊したことのあるエリア（居住地別）



訪問したことのあるエリア（訪問回数別）



宿泊したことのあるエリア（訪問回数別）



訪問したことのあるエリア（性年齢別）

		n	向島	因島	生口島	大三島	伯方島	大島	弓削島、岩城島、生名島、佐島	その他
全体		600	43.7	58.0	46.5	49.2	32.8	37.8	12.8	5.7
性別	男性	300	44.7	64.0	47.7	48.3	36.0	39.3	14.0	5.0
	女性	300	42.7	52.0	45.3	50.0	29.7	36.3	11.7	6.3
年代	～29歳	200	49.5	51.5	44.5	37.5	25.5	36.5	9.0	4.5
	30～49歳	200	47.5	63.5	44.0	52.5	37.0	39.0	13.0	6.0
	50歳～	200	34.0	59.0	51.0	57.5	36.0	38.0	16.5	6.5
性年代	男性～29歳	100	44.0	61.0	46.0	39.0	30.0	38.0	12.0	3.0
	男性30～49歳	100	51.0	67.0	49.0	51.0	39.0	39.0	13.0	7.0
	男性50歳～	100	39.0	64.0	48.0	55.0	39.0	41.0	17.0	5.0
	女性～29歳	100	55.0	42.0	43.0	36.0	21.0	35.0	6.0	6.0
	女性30～49歳	100	44.0	60.0	39.0	54.0	35.0	39.0	13.0	5.0
	女性50歳～	100	29.0	54.0	54.0	60.0	33.0	35.0	16.0	8.0

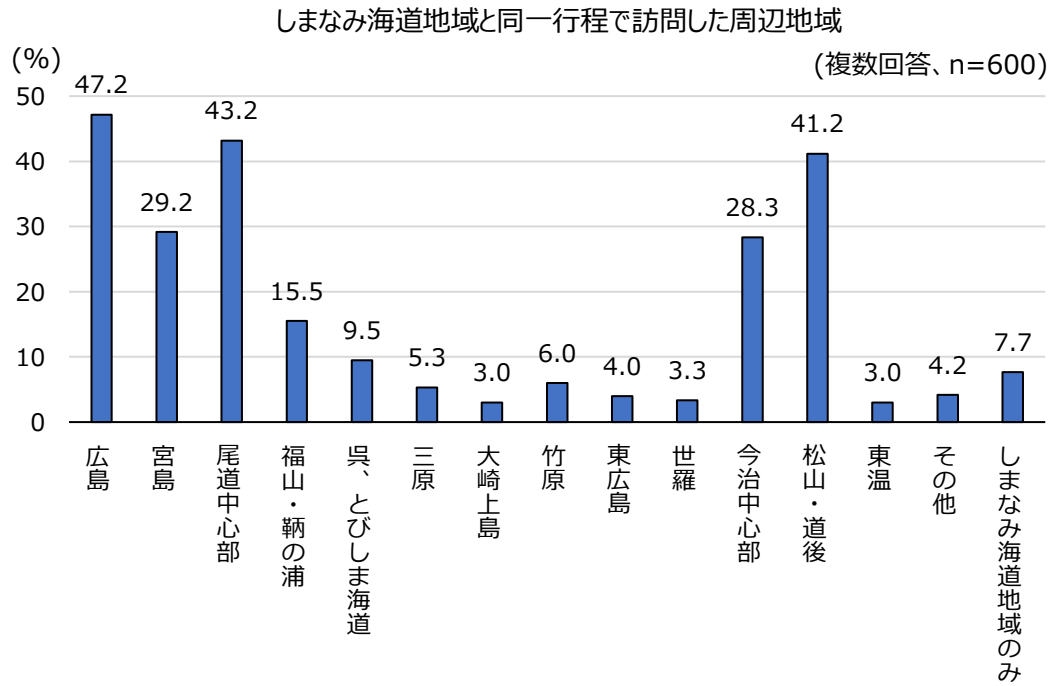
宿泊したことのあるエリア（性年齢別）

		n	向島	因島	生口島	大三島	伯方島	大島	弓削島、岩城島、生名島、佐島	その他	宿泊したことはない
全体		600	4.3	8.2	4.7	9.0	2.8	4.2	2.0	0.7	75.8
性別	男性	300	3.0	9.3	4.3	9.3	2.3	4.7	0.7	0.3	77.3
	女性	300	5.7	7.0	5.0	8.7	3.3	3.7	3.3	1.0	74.3
年代	～29歳	200	7.5	8.0	6.0	9.0	2.0	4.5	2.0	0.0	72.5
	30～49歳	200	4.0	11.0	5.0	9.0	2.0	3.0	2.5	1.0	76.0
	50歳～	200	1.5	5.5	3.0	9.0	4.5	5.0	1.5	1.0	79.0
性年代	男性～29歳	100	4.0	9.0	6.0	9.0	2.0	6.0	2.0	0.0	73.0
	男性30～49歳	100	4.0	12.0	5.0	11.0	2.0	3.0	0.0	0.0	77.0
	男性50歳～	100	1.0	7.0	2.0	8.0	3.0	5.0	0.0	1.0	82.0
	女性～29歳	100	11.0	7.0	6.0	9.0	2.0	3.0	2.0	0.0	72.0
	女性30～49歳	100	4.0	10.0	5.0	7.0	2.0	3.0	5.0	2.0	75.0
	女性50歳～	100	2.0	4.0	4.0	10.0	6.0	5.0	3.0	1.0	76.0

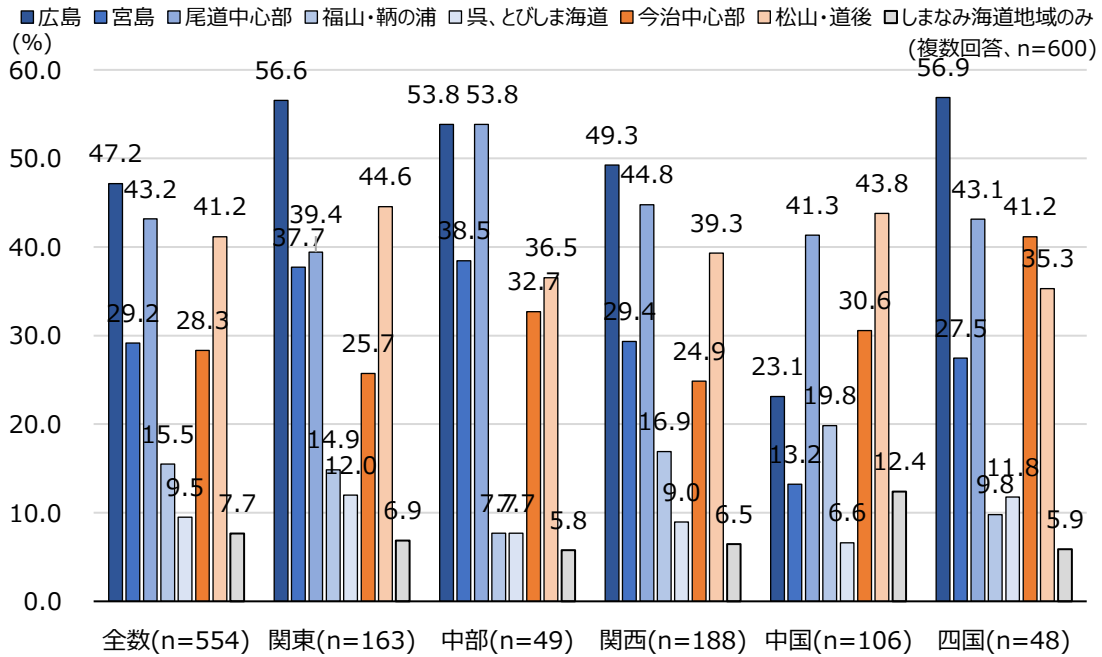
* ■は全体よりも+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

8. 周遊訪問地域

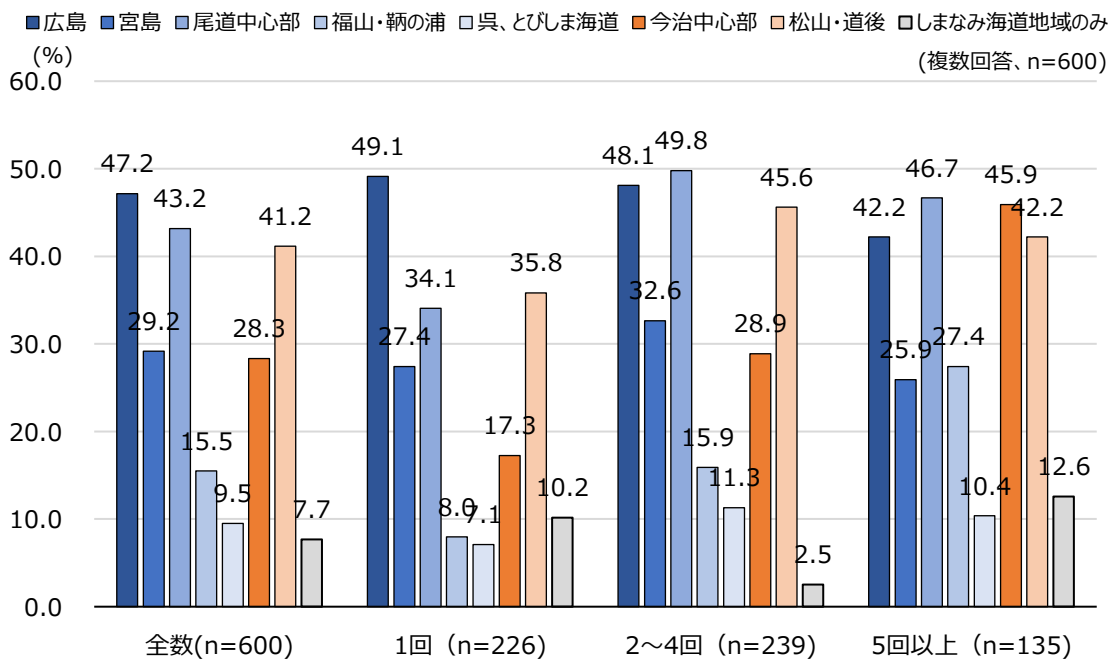
しまなみ海道地域と合わせて訪れた周遊地域は、広島が 47.2%と最も高く、次いで尾道中心部（43.2%）、松山・道後（41.2%）となっている。しまなみ海道地域のみを訪れている人は 7.7%と少なく、周辺地域とセットで来訪している。



しまなみ海道地域と同一行程で訪問した周辺地域（主な地域、居住地別）



しまなみ海道地域と同一行程で訪問した周辺地域（主な地域、訪問回数別）



しまなみ海道地域と同一行程で訪問した周辺地域（性年齢別）

		n	広島	宮島	尾道中心部	福山・鞆の浦	とびしま海道 呉、	三原	大崎上島	竹原
全体		600	47.2	29.2	43.2	15.5	9.5	5.3	3.0	6.0
性別	男性	300	46.7	29.3	45.3	12.3	8.7	6.7	2.3	6.0
	女性	300	47.7	29.0	41.0	18.7	10.3	4.0	3.7	6.0
年代	～29歳	200	57.0	32.0	41.5	13.0	8.5	4.5	4.0	5.0
	30～49歳	200	45.5	24.5	47.0	16.5	11.0	5.5	3.0	5.5
	50歳～	200	39.0	31.0	41.0	17.0	9.0	6.0	2.0	7.5
性年代	男性～29歳	100	52.0	31.0	43.0	8.0	6.0	4.0	3.0	5.0
	男性30～49歳	100	49.0	24.0	48.0	11.0	11.0	7.0	2.0	6.0
	男性50歳～	100	39.0	33.0	45.0	18.0	9.0	9.0	2.0	7.0
	女性～29歳	100	62.0	33.0	40.0	18.0	11.0	5.0	5.0	5.0
	女性30～49歳	100	42.0	25.0	46.0	22.0	11.0	4.0	4.0	5.0
	女性50歳～	100	39.0	29.0	37.0	16.0	9.0	3.0	2.0	8.0

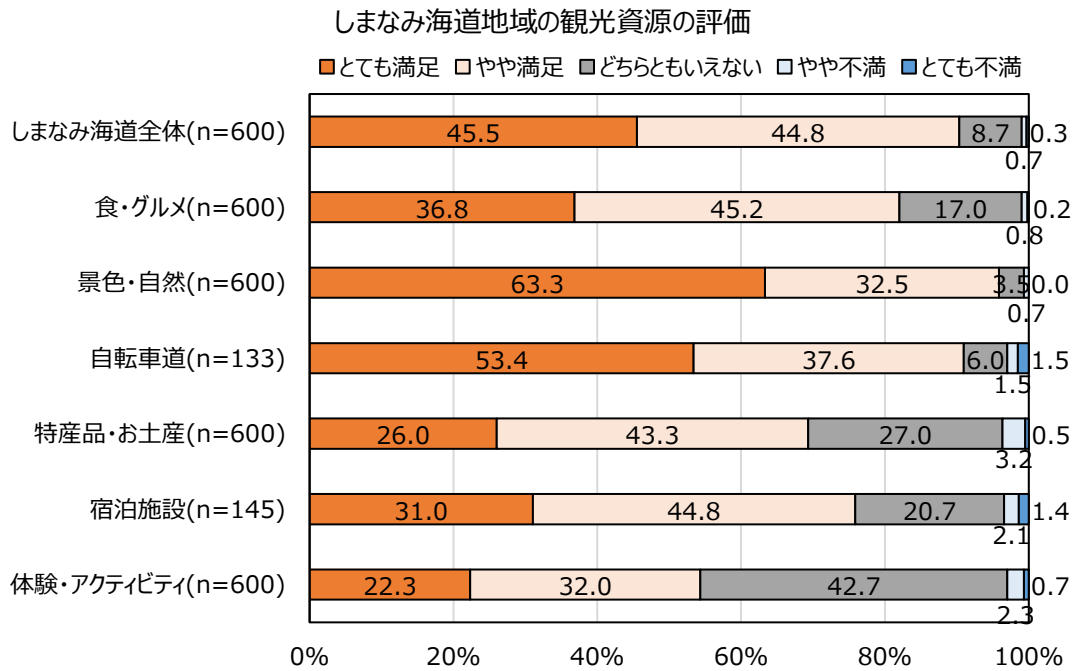
		n	東広島	世羅	今治中心部	松山・道後	東温	その他	同一旅行では しまなみ海道地域 しか訪れていない
全体		600	4.0	3.3	28.3	41.2	3.0	4.2	7.7
性別	男性	300	5.0	3.0	29.7	44.0	2.7	2.3	8.0
	女性	300	3.0	3.7	27.0	38.3	3.3	6.0	7.3
年代	～29歳	200	3.5	3.5	23.0	32.0	1.5	2.0	7.0
	30～49歳	200	5.0	4.0	29.0	39.0	4.5	2.0	9.5
	50歳～	200	3.5	2.5	33.0	52.5	3.0	8.5	6.5
性年代	男性～29歳	100	4.0	2.0	30.0	36.0	2.0	2.0	8.0
	男性30～49歳	100	4.0	4.0	23.0	39.0	4.0	1.0	9.0
	男性50歳～	100	7.0	3.0	36.0	57.0	2.0	4.0	7.0
	女性～29歳	100	3.0	5.0	16.0	28.0	1.0	2.0	6.0
	女性30～49歳	100	6.0	4.0	35.0	39.0	5.0	3.0	10.0
	女性50歳～	100	0.0	2.0	30.0	48.0	4.0	13.0	6.0

* ■は全体よりも+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

9. しまなみ海道地域の観光資源の評価

(1) 総合評価

しまなみ海道全体に対する評価は総じて高く、特に「景色・自然」「自転車道」に対する評価は「とても満足」が半数以上となっている。「体験・アクティビティ」や「特産品・お土産」の評価が他よりも低い。肯定的な評価が半数以上であり、全体的に高い評価を得ていると言える。



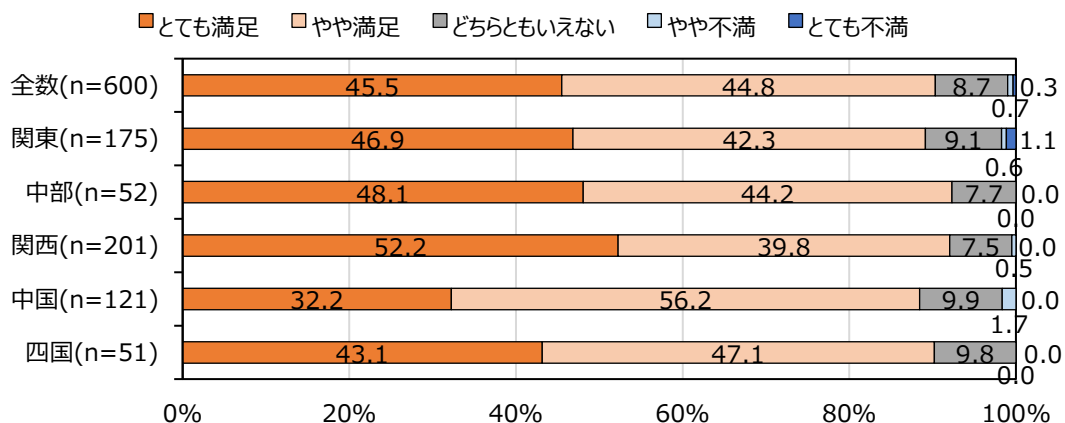
※「自転車道」は移動手段で「自転車」を選択した人のみを対象

※「宿泊施設」は宿泊したことのある人のみを対象

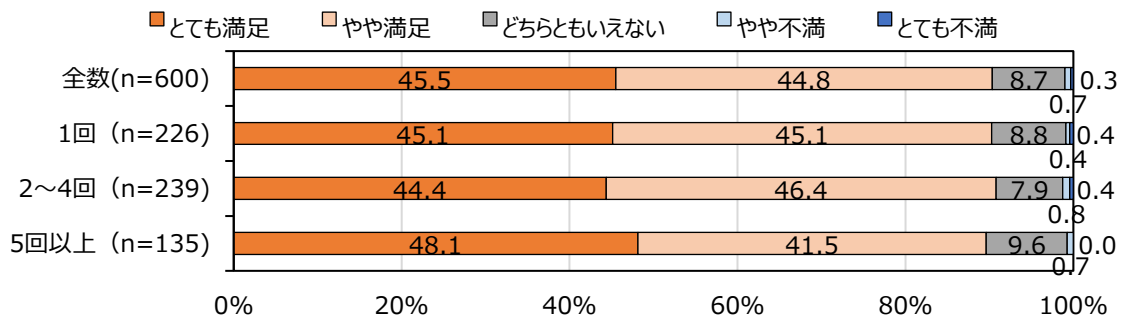
(2) しまなみ海道全体の評価

居住地別、訪問回数別、性年齢別にみると、しまなみ海道全体の評価としては中国地方や男性の中年層で「とても満足」が他よりも低いが、総じて良い評価となっている。

しまなみ海道全体の評価（居住地別）



しまなみ海道全体の評価（訪問回数別）



しまなみ海道全体の評価（性年齢別）

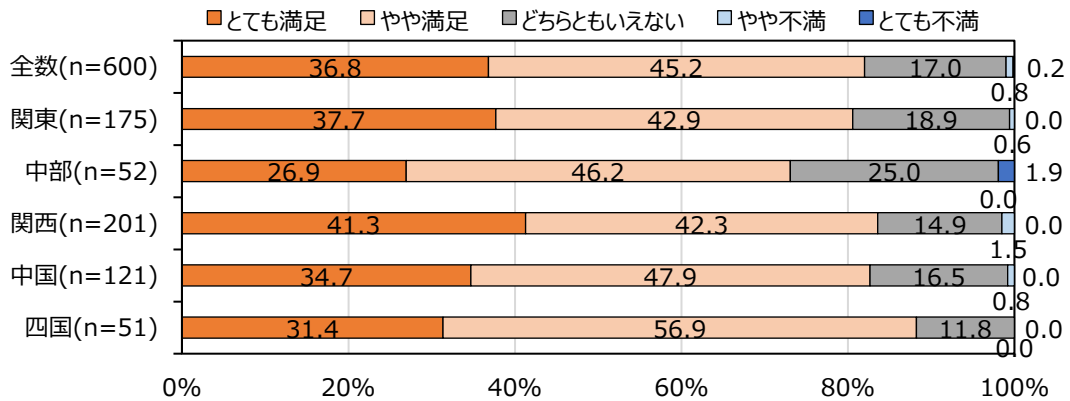
		n	とても満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	とても不満
全体		600	45.5	44.8	8.7	0.7	0.3
性別	男性	300	42.3	46.3	10.7	0.7	0.0
	女性	300	48.7	43.3	6.7	0.7	0.7
年代	~29歳	200	45.5	46.0	7.5	0.5	0.5
	30~49歳	200	42.0	48.5	8.0	1.5	0.0
	50歳~	200	49.0	40.0	10.5	0.0	0.5
性年代	男性~29歳	100	46.0	44.0	9.0	1.0	0.0
	男性30~49歳	100	38.0	51.0	10.0	1.0	0.0
	男性50歳~	100	43.0	44.0	13.0	0.0	0.0
	女性~29歳	100	45.0	48.0	6.0	0.0	1.0
	女性30~49歳	100	46.0	46.0	6.0	2.0	0.0
	女性50歳~	100	55.0	36.0	8.0	0.0	1.0

* ■は全体よりも+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

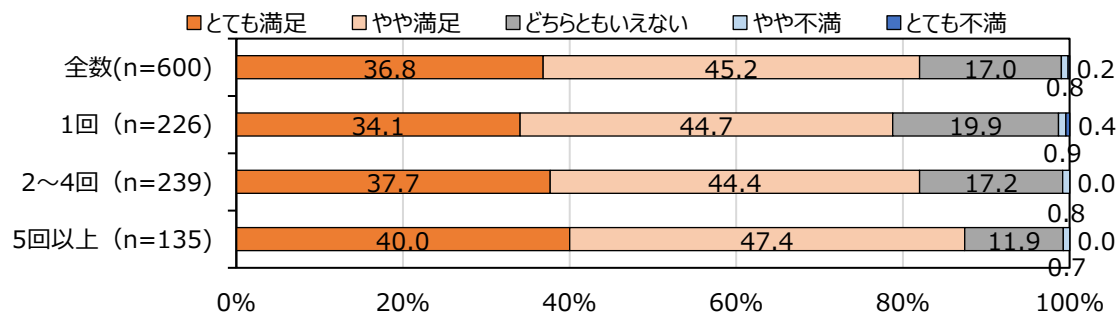
(3) 食・グルメ

食・グルメについては、女性の若年層、中年層で「とても満足」の割合が高くなっているが、女性の50歳以上で「とても満足」の割合が29%と他よりも低い点は特徴として挙げられる。

食・グルメの評価（居住地別）



食・グルメの評価（訪問回数別）



食・グルメの評価（性年齢別）

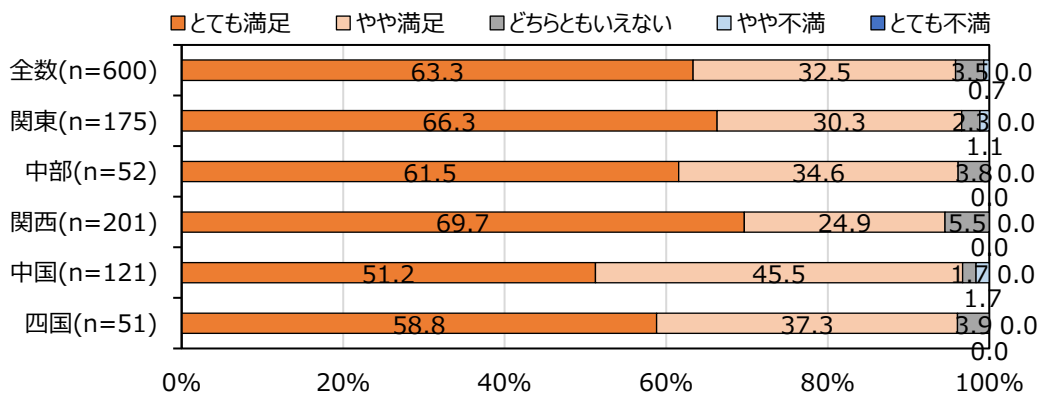
		n	とても満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	とても不満
全体		600	36.8	45.2	17.0	0.8	0.2
性別	男性	300	34.0	47.0	18.0	0.7	0.3
	女性	300	39.7	43.3	16.0	1.0	0.0
年代	~29歳	200	41.0	46.5	11.5	1.0	0.0
	30~49歳	200	39.5	45.5	13.5	1.5	0.0
	50歳~	200	30.0	43.5	26.0	0.0	0.5
性年代	男性~29歳	100	38.0	51.0	10.0	1.0	0.0
	男性30~49歳	100	30.0	52.0	17.0	1.0	0.0
	男性50歳~	100	34.0	38.0	27.0	0.0	1.0
	女性~29歳	100	44.0	42.0	13.0	1.0	0.0
	女性30~49歳	100	49.0	39.0	10.0	2.0	0.0
	女性50歳~	100	26.0	49.0	25.0	0.0	0.0

* ■は全体よりも+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

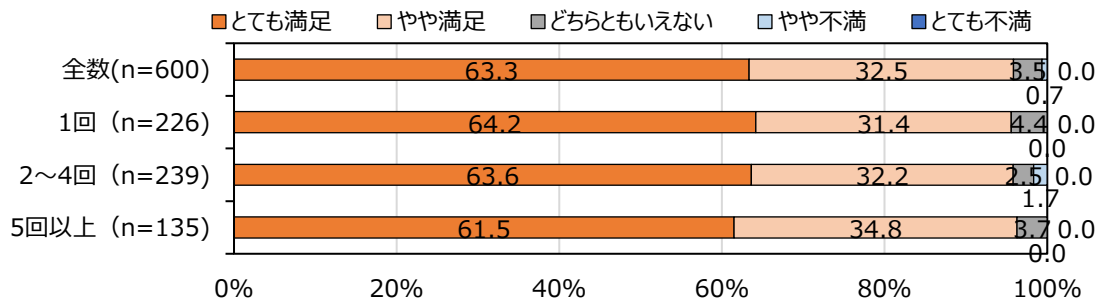
(4) 景色・自然

しまなみ海道地域の「景色・自然」については、どの属性に対しても満足度が高く、特に女性中年層では「とても満足」が7割を超えている。

景色・自然の評価（居住地別）



景色・自然の評価（訪問回数別）



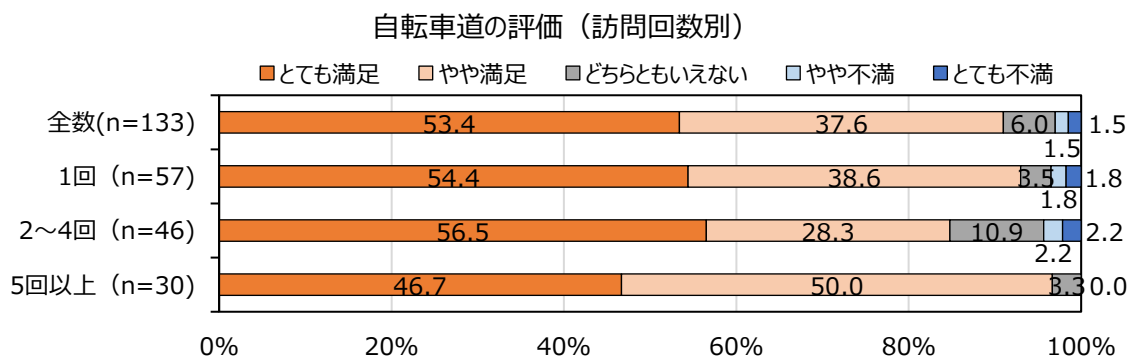
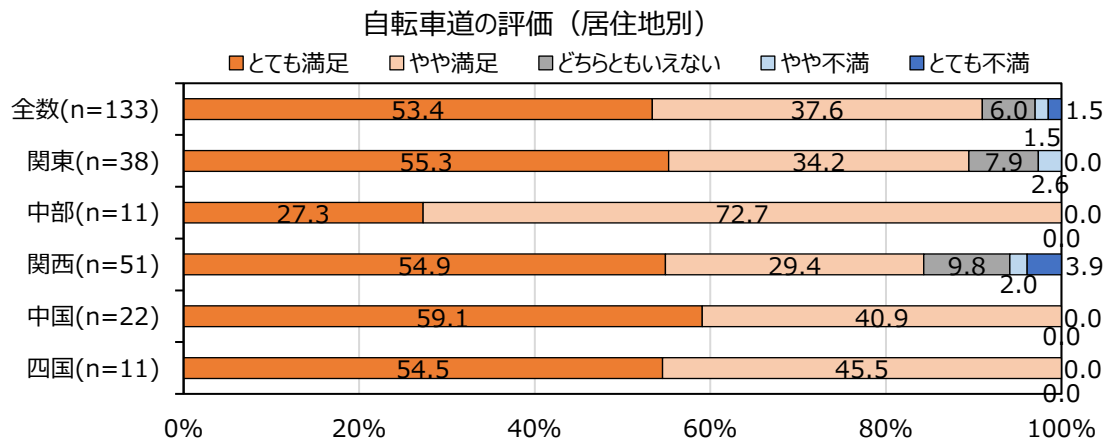
景色・自然の評価（性年齢別）

		n	とても満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	とても不満
全体		600	63.3	32.5	3.5	0.7	0.0
性別	男性	300	59.7	36.0	3.7	0.7	0.0
	女性	300	67.0	29.0	3.3	0.7	0.0
年代	~29歳	200	62.0	33.0	3.5	1.5	0.0
	30~49歳	200	64.5	32.0	3.5	0.0	0.0
	50歳~	200	63.5	32.5	3.5	0.5	0.0
性年代	男性~29歳	100	61.0	36.0	2.0	1.0	0.0
	男性30~49歳	100	56.0	40.0	4.0	0.0	0.0
	男性50歳~	100	62.0	32.0	5.0	1.0	0.0
	女性~29歳	100	63.0	30.0	5.0	2.0	0.0
	女性30~49歳	100	73.0	24.0	3.0	0.0	0.0
	女性50歳~	100	65.0	33.0	2.0	0.0	0.0

* ■は全体よりも+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

(5) 自転車道

移動手段として自転車を使った人の自転車道の評価は、若年層ほど満足度が高い結果となっている。



自転車道の評価（性年齢別）

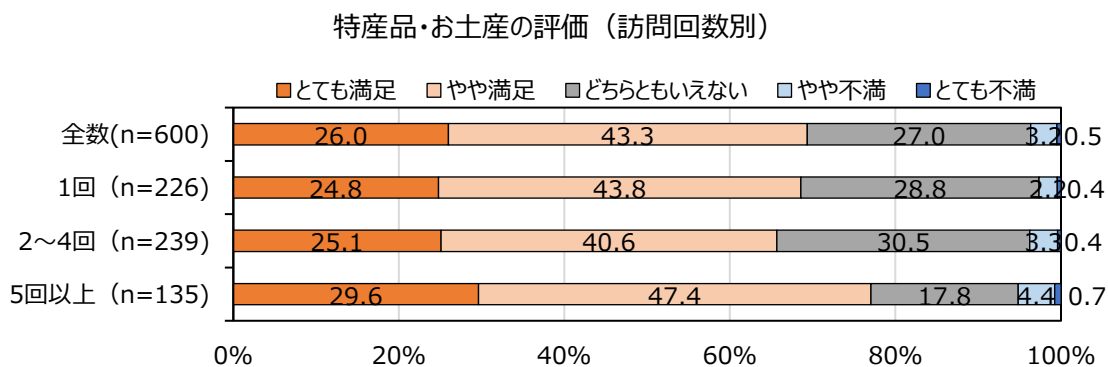
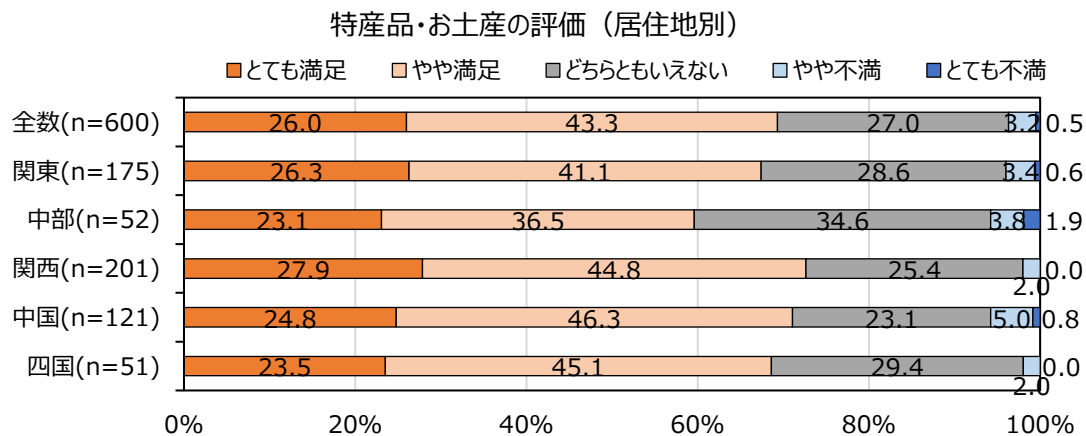
		n	とても満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	とても不満
全体		133	53.4	37.6	6.0	1.5	1.5
性別	男性	68	57.4	38.2	2.9	1.5	0.0
	女性	65	49.2	36.9	9.2	1.5	3.1
年代	~29歳	61	59.0	31.1	8.2	0.0	1.6
	30~49歳	46	50.0	41.3	4.3	2.2	2.2
	50歳~	26	46.2	46.2	3.8	3.8	0.0
性年代	男性~29歳	29	62.1	34.5	3.4	0.0	0.0
	男性30~49歳	24	54.2	41.7	4.2	0.0	0.0
	男性50歳~	15	53.3	40.0	0.0	6.7	0.0
	女性~29歳	32	56.3	28.1	12.5	0.0	3.1
	女性30~49歳	22	45.5	40.9	4.5	4.5	4.5
	女性50歳~	11	36.4	54.5	9.1	0.0	0.0

* ■は全体よりも+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* サンプル n=30 以下は参考値としてグレーで表記している

(6) 特産品・お土産

特産品・お土産については、50歳以上の評価が他よりも低くなっている。



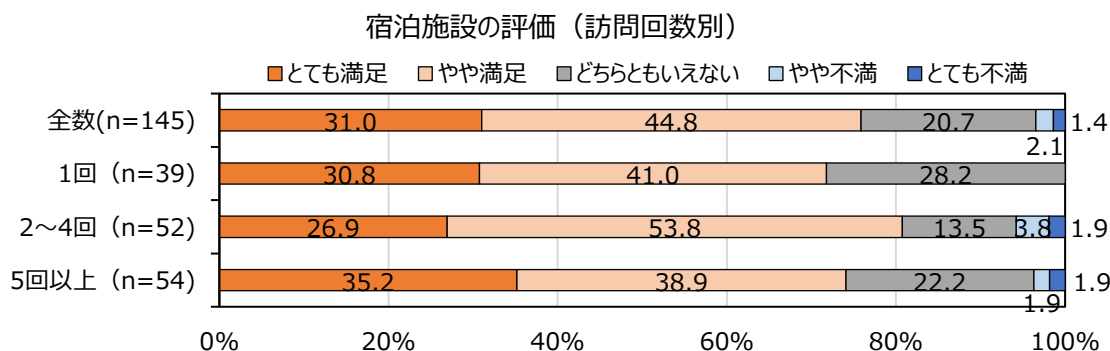
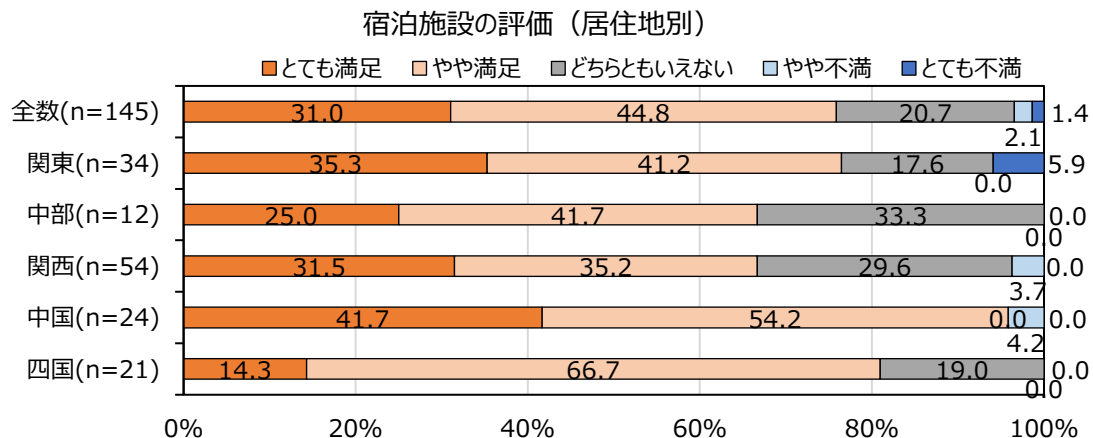
特産品・お土産の評価（性年齢別）

		n	とも満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	とても不満
全体		600	26.0	43.3	27.0	3.2	0.5
性別	男性	300	24.7	40.7	31.0	3.0	0.7
	女性	300	27.3	46.0	23.0	3.3	0.3
年代	~29歳	200	34.0	42.0	20.0	3.5	0.5
	30~49歳	200	27.0	42.5	26.0	4.0	0.5
	50歳~	200	17.0	45.5	35.0	2.0	0.5
性年代	男性~29歳	100	33.0	43.0	21.0	2.0	1.0
	男性30~49歳	100	23.0	41.0	32.0	4.0	0.0
	男性50歳~	100	18.0	38.0	40.0	3.0	1.0
	女性~29歳	100	35.0	41.0	19.0	5.0	0.0
	女性30~49歳	100	31.0	44.0	20.0	4.0	1.0
	女性50歳~	100	16.0	53.0	30.0	1.0	0.0

* ■は全体よりも+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

(7) 宿泊施設

しまなみ海道地域に宿泊したことのある人に聞いた宿泊施設の評価は、四国在住者や50歳以上で他よりも低くなっている。



宿泊施設の評価（性年齢別）

		n	とても満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	とても不満
全体		145	31.0	44.8	20.7	2.1	1.4
性別	男性	68	29.4	41.2	26.5	2.9	0.0
	女性	77	32.5	48.1	15.6	1.3	2.6
年代	~29歳	55	40.0	45.5	12.7	1.8	0.0
	30~49歳	48	25.0	50.0	18.8	2.1	4.2
	50歳~	42	26.2	38.1	33.3	2.4	0.0
性年代	男性~29歳	27	37.0	44.4	14.8	3.7	0.0
	男性30~49歳	23	17.4	56.5	26.1	0.0	0.0
	男性50歳~	18	33.3	16.7	44.4	5.6	0.0
	女性~29歳	28	42.9	46.4	10.7	0.0	0.0
	女性30~49歳	25	32.0	44.0	12.0	4.0	8.0
	女性50歳~	24	20.8	54.2	25.0	0.0	0.0

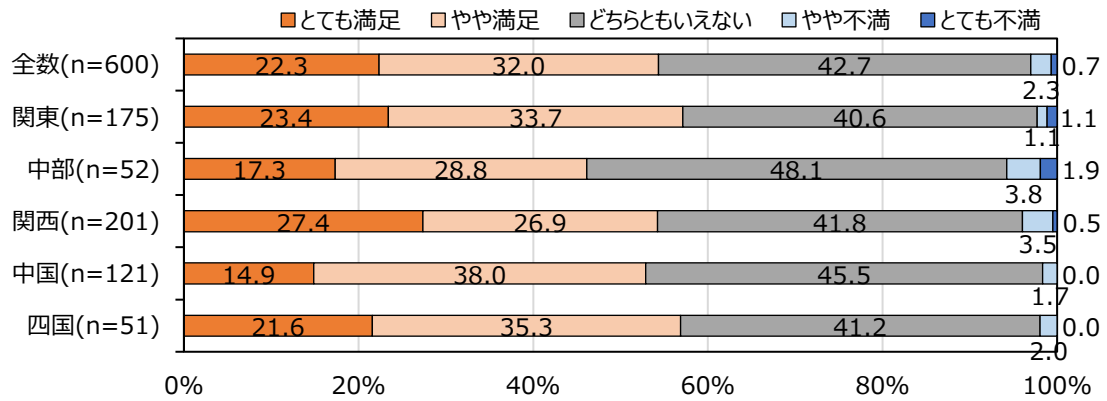
* ■は全体よりも+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* サンプル n=30 以下は参考値としてグレーで表記している

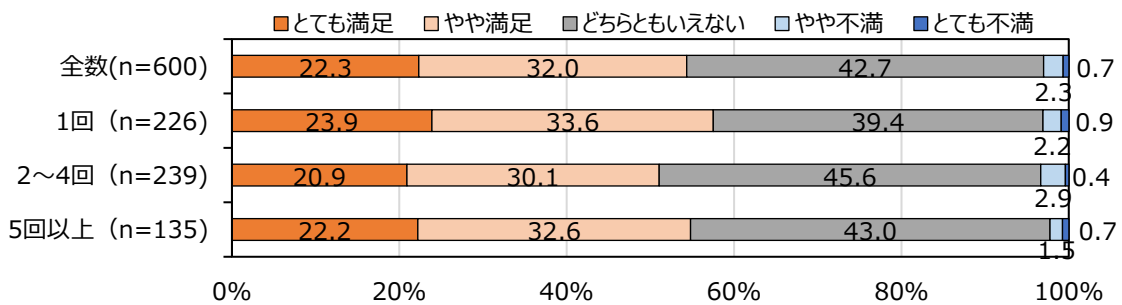
(8) 体験・アクティビティ

体験・アクティビティの評価の内訳をみると、若年層で評価が高くなっている。

体験・アクティビティの評価（居住地別）



体験・アクティビティの評価（訪問回数別）



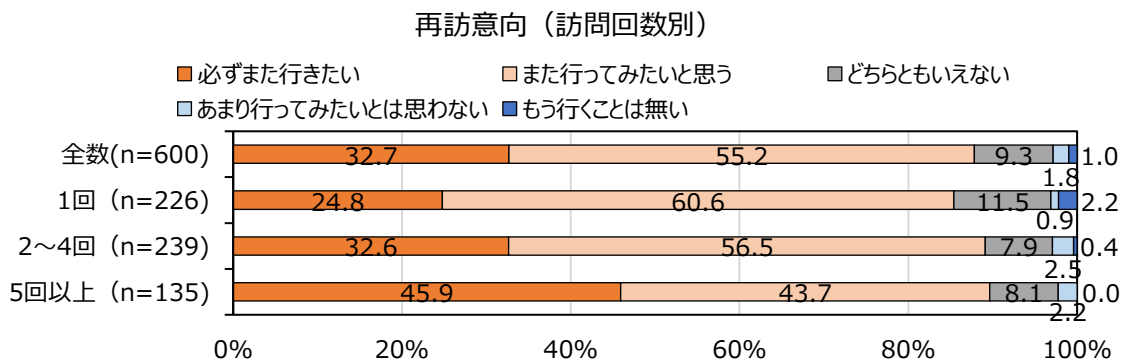
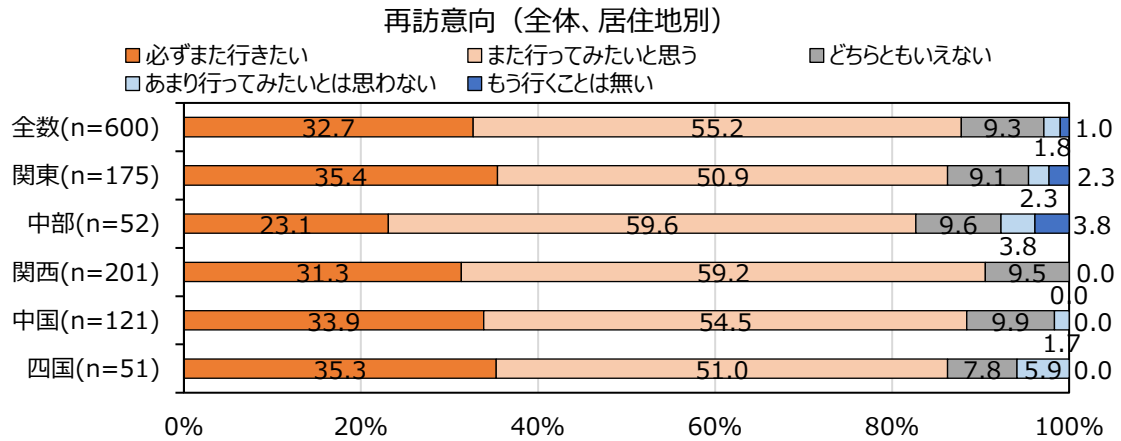
体験・アクティビティの評価（性年齢別）

		n	とも満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	とても不満
全体		600	22.3	32.0	42.7	2.3	0.7
性別	男性	300	21.0	31.7	43.7	3.0	0.7
	女性	300	23.7	32.3	41.7	1.7	0.7
年代	~29歳	200	31.0	33.0	33.5	2.5	0.0
	30~49歳	200	20.5	34.5	42.0	2.0	1.0
	50歳~	200	15.5	28.5	52.5	2.5	1.0
性年代	男性~29歳	100	32.0	33.0	33.0	2.0	0.0
	男性30~49歳	100	16.0	35.0	45.0	3.0	1.0
	男性50歳~	100	15.0	27.0	53.0	4.0	1.0
	女性~29歳	100	30.0	33.0	34.0	3.0	0.0
	女性30~49歳	100	25.0	34.0	39.0	1.0	1.0
	女性50歳~	100	16.0	30.0	52.0	1.0	1.0

* ■は全体よりも+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

10. 再訪意向

しまなみ海道地域への再訪意向は総じて高い評価となっており、特に若年層での再訪意向が高い。また訪問回数が多いほど「必ずまた行きたい」という評価となっている。



再訪意向（性年齢別）

		n	必ずまた行きたい	また行ってみたいと思う	どちらともいえない	あまり行ってみたいとは思わない	もう行くことは無い
全体		600	32.7	55.2	9.3	1.8	1.0
性別	男性	300	32.0	56.7	8.7	1.7	1.0
	女性	300	33.3	53.7	10.0	2.0	1.0
年代	~29歳	200	39.0	52.0	6.5	2.0	0.5
	30~49歳	200	33.0	53.5	11.0	2.0	0.5
	50歳~	200	26.0	60.0	10.5	1.5	2.0
性年代	男性~29歳	100	38.0	52.0	6.0	3.0	1.0
	男性30~49歳	100	27.0	60.0	11.0	1.0	1.0
	男性50歳~	100	31.0	58.0	9.0	1.0	1.0
	女性~29歳	100	40.0	52.0	7.0	1.0	0.0
	女性30~49歳	100	39.0	47.0	11.0	3.0	0.0
	女性50歳~	100	21.0	62.0	12.0	2.0	3.0

* ■は全体よりも+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

11. 自由記述（再訪意向の理由）

再訪意向の理由について自由記述で回答を求めたところ、再訪意向がある人の回答では「景色・自然が良かった、きれいだった」という内容の自由記述が最も多かった。また、「前回とは違う季節に行きたい」、「行ったことのない島に行きたい」といった、これまでの訪問経験では行けなかった場所、できなかったことをやりたいという意見も 90 件と多かった。

再訪理由「必ずまた行きたい」「また行ってみたいと思う」と回答した人の理由

景色・自然が良かった、きれいだった	159
まだ行ってない場所・やってないことがある (前回雨だった、違う季節に行きたい、行ってない島に行きたい等)	90
サイクリングが楽しかった、やってみたい	61
(具体的な場所※) が良かった、行きたい	49
良かった・楽しかった (具体的な記述無し)	45
食事が良かった、食べに行きたい	39
リラックス・のんびりできた、癒された	20
里帰り、地元、近いから	18
好きだから	11
ドライブが楽しかった、ドライブしたい	10
地元の人良かった、優しかった	4
その他	37
その他 (ネガティブ)	4
特に無し	26

※「(具体的な場所) が良かった、行きたい」の記載内容

<p>【しまなみ海道地域】</p> <p>因島(7)、大山祇神社(4)、亀老山展望台公園(4)、村上水軍博物館・関連施設(4)、大三島(3)、向島(2)、生口島・瀬戸田(2)、ベラビスタ(2)、平山郁夫美術館(2)、道の駅(2)、耕三寺博物館、大島の道の駅、タオル美術館、伯方の塩の工場見学、多々羅大橋、大浜、HAKKO パーク、ドルフィンファームしまなみ、ペンション、うず潮</p>
<p>【その他地域】</p> <p>尾道(4)、千光寺、猫の細道、鞆の浦、道後温泉、石槌山、砥部焼の窯元</p>

IV しまなみ海道地域内観光事業者向けアンケート調査

1. 調査概要

(1) 目的

しまなみ海道地域内の観光事業者を対象に、しまなみ海道地域の魅力、観光客の居住地、来訪時期、観光客とのエピソード等についてアンケート調査を実施し、しまなみ海道の拠点性や今後の観光振興の方向性に関する事業者の意識を把握する。

(2) 対象事業者（送付先）：

（単位：施設・店舗）

県	エリア	区分		合計
		しまなみサイクル オアシス登録施設	その他の 店舗・施設	
広島県	向島、因島、生口島	87	21	108
愛媛県	大島、伯方島、大三島、 岩城島、弓削島、生名島、佐島	64	32	96
合計	—	151	53	204

(3) 調査方法

調査票を事業者に郵送で配布し、郵送またはWEB回答により回収。

(4) 実施日

2022年9月30日～10月14日

(5) 有効回答数および回答率

県	回答数	回答率
広島県	46	42.6%
愛媛県	50	52.1%
不明	2	—
合計	98	48.0%

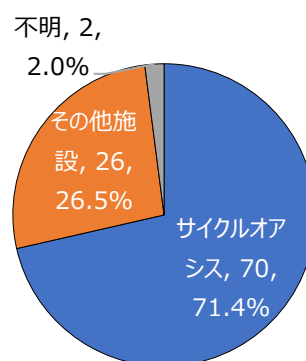
区分	回答数	回答率
サイクルオアシス	70	46.4%
その他施設	26	49.1%
不明	2	—
合計	98	48.0%

2. 回答者属性

(1) 所在地・区分別回答者数

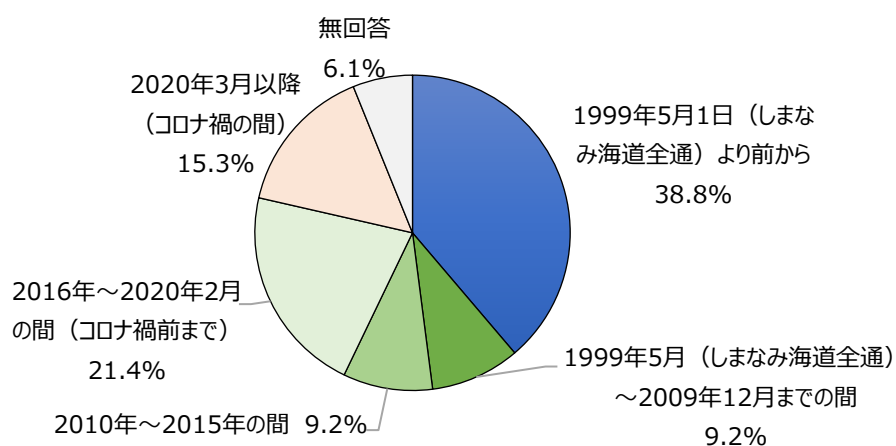
回答者（事業者）の所在地は、広島県側 46 件、愛媛県側 50 件、不明 2 件であり、島別では大三島、因島、生口島の順に多かった。区分別ではサイクルオアシスが 70 件、71.4%となっている。

県	エリア	回答数	
広島県	向島	9	46
	因島	19	
	生口島	18	
愛媛県	大島	8	50
	伯方島	7	
	大三島	23	
	岩城島	1	
	弓削島	7	
	生名島	3	
	馬島	1	
不 明		2	2
合 計		98	98



(2) 開業時期

回答者（事業者）の開業時期は、しまなみ海道全通以前が 4 割弱、全通後からコロナ禍前までが 4 割弱、コロナ禍において開業したものが 15%となっている。

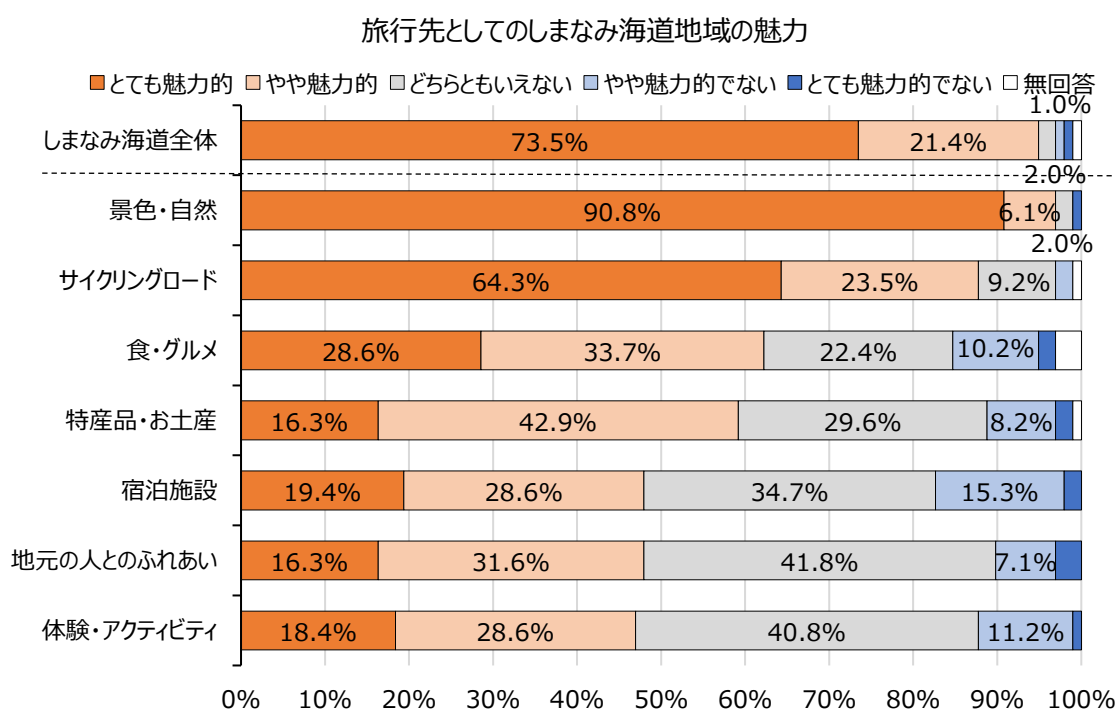


3. しまなみ海道の魅力

(1) 全体評価

旅行先としてのしまなみ海道の魅力聞いたところ、全体では73.5%が「とても魅力的」、21.4%が「やや魅力的」と回答しており、しまなみ海道全体として魅力ある観光地として認識している。特に「景色・自然」に関する評価が高く、9割以上の回答者が「とても魅力的」と回答している。

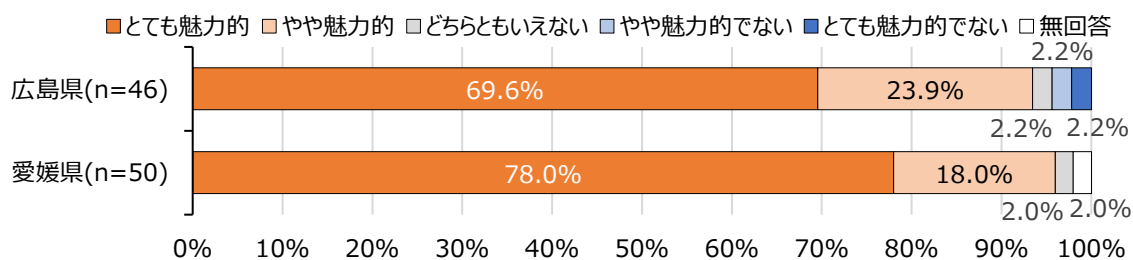
一方、「宿泊施設」「地元の人とのふれあい」「体験・アクティビティ」では、魅力的と回答した人の割合（「とても魅力的」と「やや魅力的」の合計割合）が5割に達しておらず、魅力として捉えられていない状況となっている。



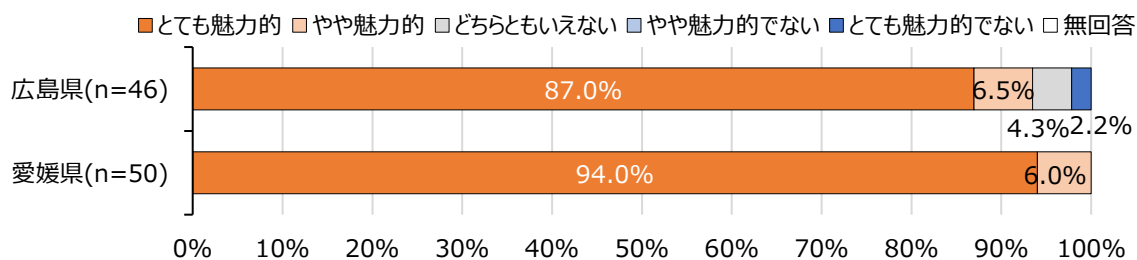
(2) 所在地別評価

しまなみ海道の魅力について、所在地別（広島県、愛媛県別）にみると、全体的に愛媛県の事業者の評価が高い傾向にあり、特に「食・グルメ」は大きな差となっている。「地元の人とのふれあい」のみ、広島県の事業者の方が高くなっている。

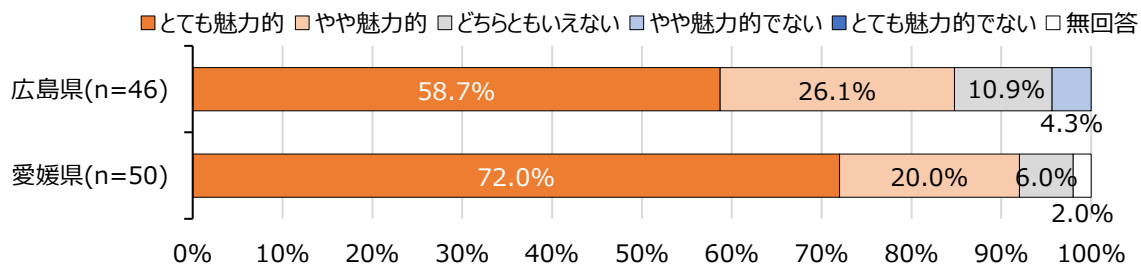
旅行先としての魅力「しまなみ海道全体」（所在地別評価）



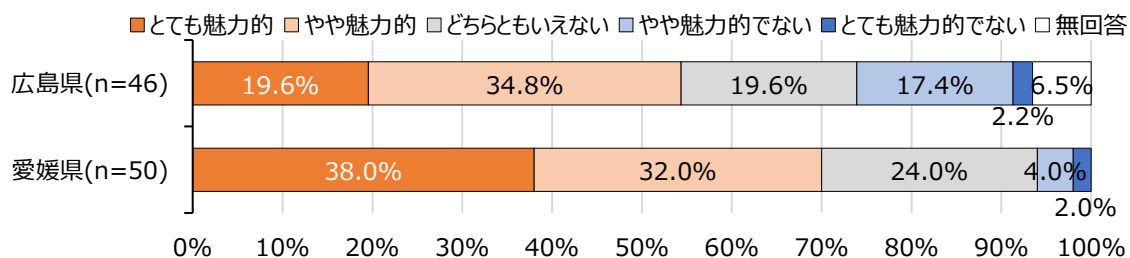
旅行先としての魅力「景色・自然」（所在地別評価）



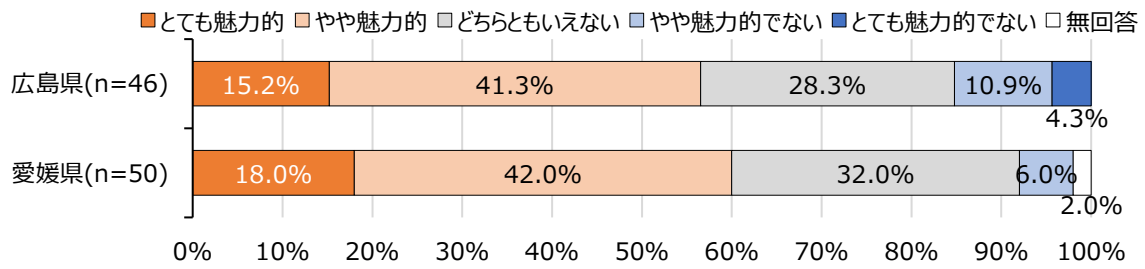
旅行先としての魅力「サイクリングロード」（所在地別評価）



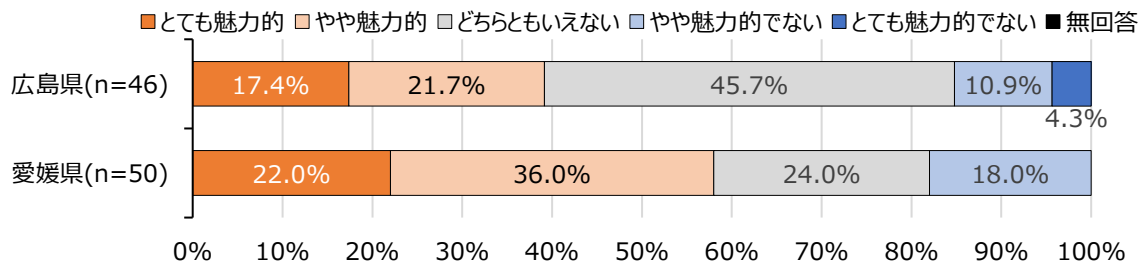
旅行先としての魅力「食・グルメ」（所在地別評価）



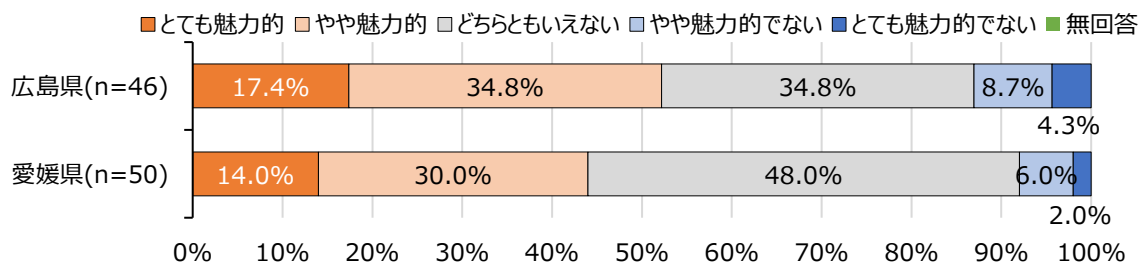
旅行先としての魅力「特産品・お土産」(所在地別評価)



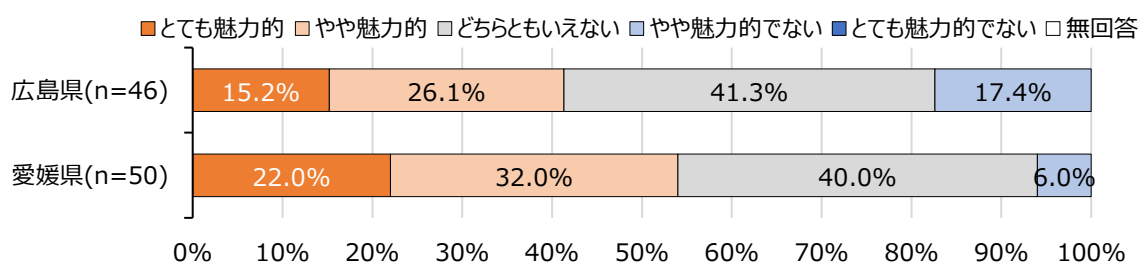
旅行先としての魅力「宿泊施設」(所在地別評価)



旅行先としての魅力「地元の人とのふれあい」(所在地別評価)



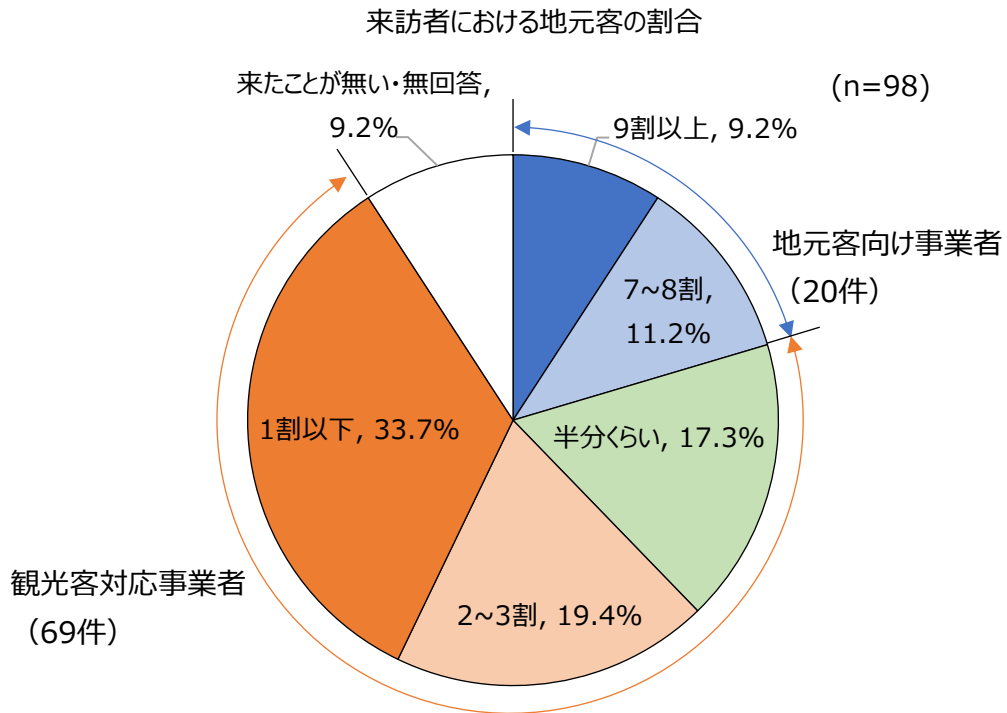
旅行先としての魅力「体験・アクティビティ」(所在地別評価)



4. 来訪者の範囲

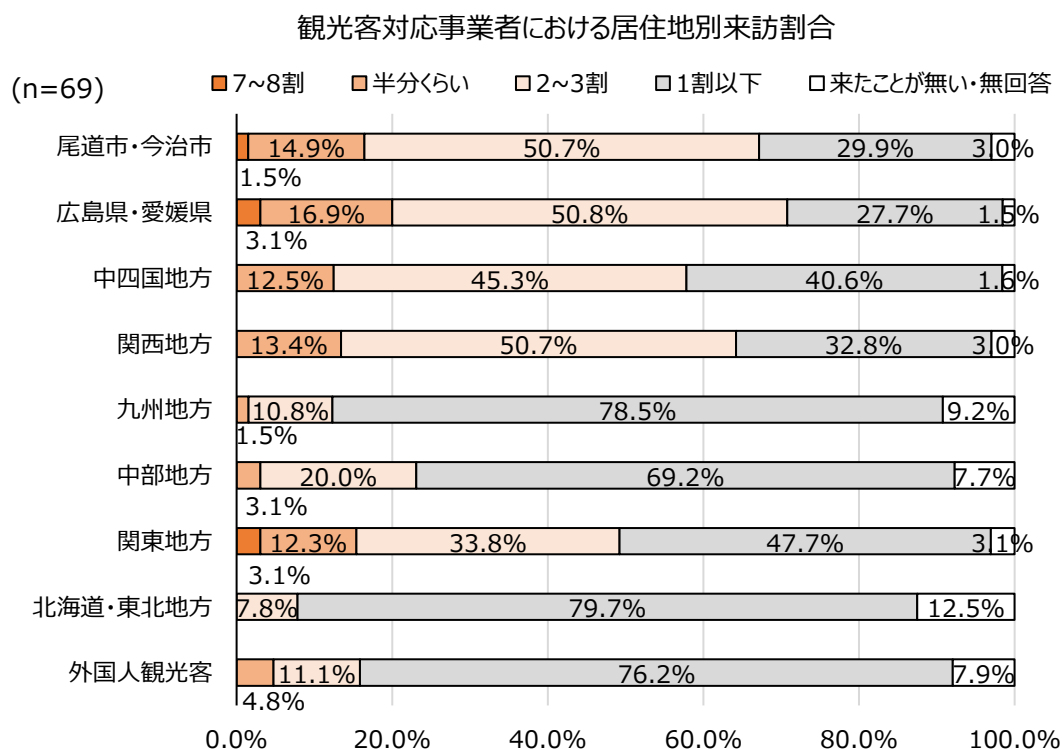
(1) 地元客の割合

店舗・施設への来訪者について、地元客の割合を聞いたところ、7割以上は地元客という地元客向け事業者が全体の約2割（20件）であり、「半分くらい」「2～3割」「1割以下」という観光客対応事業者が全体の約7割（69件）となった。



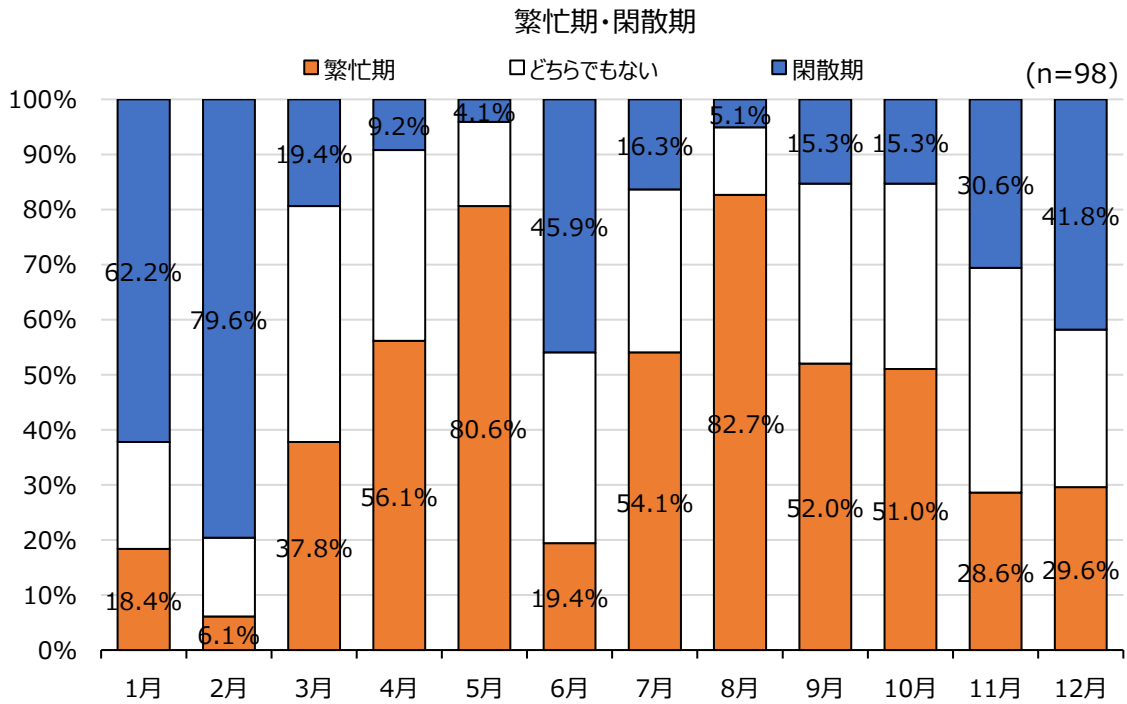
(2) 観光客対応事業者における訪問範囲

来訪者の居住地別割合について、地元客の割合が「半分くらい」「2～3割」「1割以下」という観光客対応事業者に絞って内訳をみたところ、広島県・愛媛県を含む中四国地方や関西地方からの来訪が多く、次いで関東地方からの来客が多いことが分かる。九州からの来訪が少ないことが特徴として挙げられる。



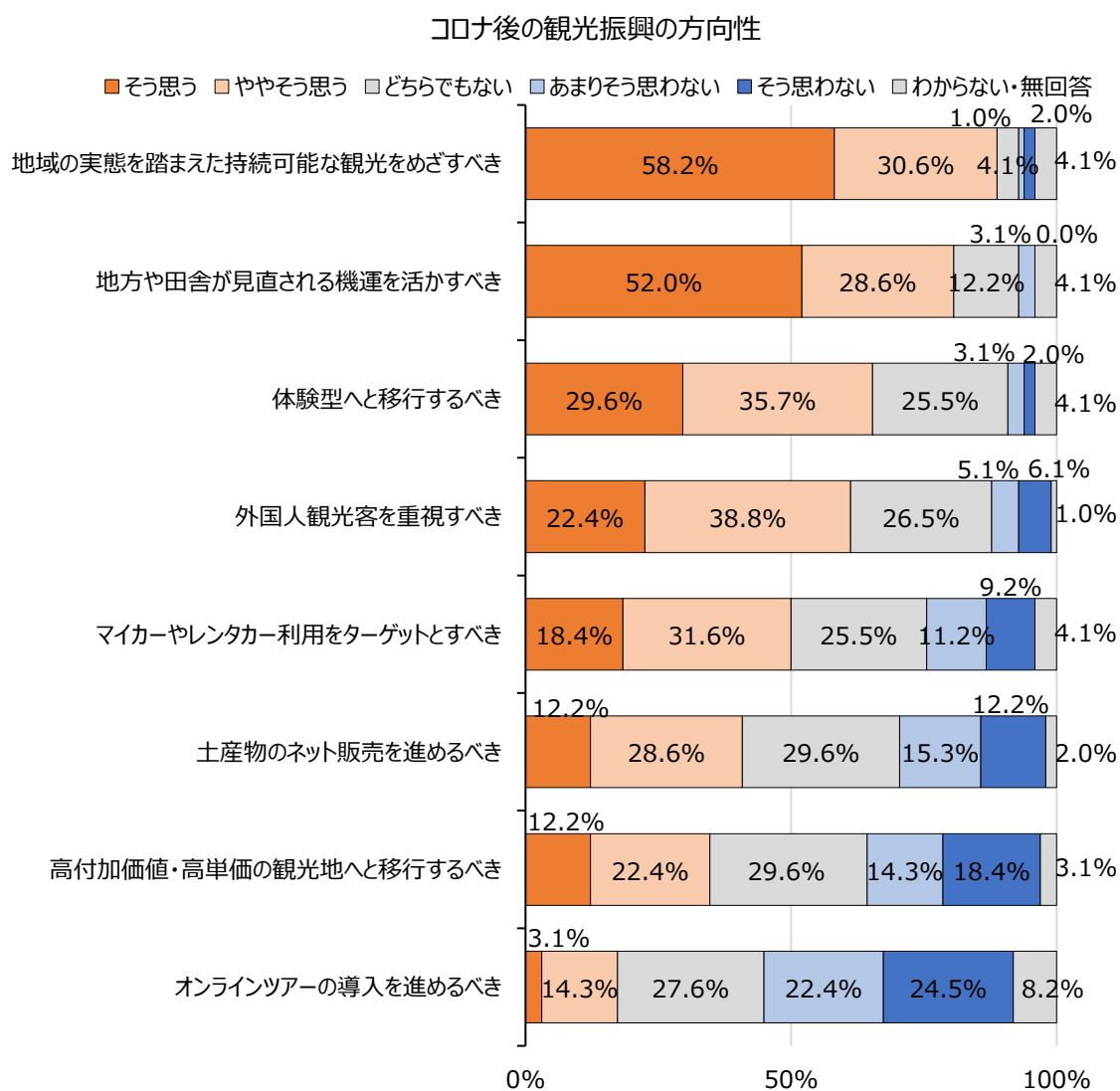
5. 繁忙期・閑散期

繁忙期・閑散期を聞いたところ、繁忙期は5月、8月という回答が8割以上、閑散期は2月という回答が8割近くとなった。



6. コロナ後の観光振興の方向性

しまなみ海道地域におけるコロナ後の観光振興の方向性については、「地域の実態を踏まえた持続可能な観光をめざすべき」「地方や田舎が見直される機運を活かすべき」という地域密着型の観光振興を求める意見が多かった。そのほか、体験型観光や外国人観光について肯定的な意見が過半数となる一方、「オンラインツアーの導入を進めるべき」という項目については、そう思わないという否定的な回答が上回っている。



V しまなみ海道の関係者向けヒアリング調査

1. 調査対象・実施日時

しまなみ海道地域内の観光事業者を対象にしたアンケート結果を踏まえ、しまなみ海道地域の魅力等について詳細を把握するため、以下の5事業者に対して追加ヒアリング調査を実施した。

所在地	対象事業者	実施日時 (2022/12~2023/1)
広島県 因島	事業者 A	12/22 (木) 10:00~11:30
広島県 生口島 (瀬戸田)	事業者 B	1/13 (金) 14:00~15:00
愛媛県 大三島	事業者 C	12/15 (木) 15:30~17:00
愛媛県 大島	事業者 D	12/14 (水) 14:00~16:00
愛媛県 岩城島	事業者 E	12/21 (水) 14:00~15:30

2. 結果概要

追加ヒアリング調査結果のうち、主な意見をテーマ別に整理したところ、以下の通り現状（魅力と課題）及び今後の方向性が抽出された。

(1) しまなみ海道の現状（魅力と課題）

テーマ	ヒアリングで得られた意見
観光客の動向	<ul style="list-style-type: none">・しまなみ海道は、観光客がゆっくりするというイメージは無く、滞在時間が短い。10~16時の滞在で、夕方になると一気に人は引いていく。観光客向けの飲食店は、いかに短時間で多くのお客さんに来てもらうか、という戦略になっている。(E)・サイクリング目的の観光客は、実感としてボリュームは多くない。サイクリスト向けという観点は大事だが、根本的にやらないといけないことは他にもある。(A)・ドライブ旅行が多く、しまなみ海道のメインは車のお客さん。冬場は閑散期となるが、春夏秋の9カ月はお客さんが多い。(E)・アンケートでサイクリング目的は2割であり大きなボリュームがあるターゲットではない。サイクリスト以外の部分を拡充していく必要があるのではないか。(A)
食・宿泊	<ul style="list-style-type: none">・観光において食・グルメは目的になるが、しまなみ海道ではそのニーズを捉えきれてないのは事実だろう。(B)・しまなみ海道全体では、食と宿泊に改善の余地がある。しっかりした宿泊

	<p>施設を作ればニーズがあるかもしれない。宿泊施設で、かつグルメで呼べる施設があれば、強いと思う。(A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊は課題ではあるが、瀬戸田ではこの3年で宿泊施設が増えている。5年後にアンケートを行ったら、結果は少し変わってるはず。(B) ・ランチを提供できれば、日本人観光客が次々に来てくれているので、とりあえず商売は回る状況となっている。飲食店は危機感が無く、革新が起こりにくい。(E)
柑橘	<ul style="list-style-type: none"> ・柑橘類は武器になると思うが、まだまだ弱い。収穫体験できる場所や購入する場所があれば、柑橘街道というイメージも作っていけるはず。(A) ・景色が良い、柑橘がある、というだけで、サービス産業ができておらず、雇用も生まれていない。(A) ・オシャレで美味しいところが大島や大三島に増えているとは思う。広島側にも増えているが、愛媛側の方がその動きが活発だと感じている。(C)
サイクリング	<ul style="list-style-type: none"> ・電動アシスト付き自転車のレンタルはとても良く、外国人観光客も電動アシスト付きを借りているが、当日17時までの返却であり、宿泊者が使えないのが課題。(D) ・しまなみ海道のサイクリングは、途中でリタイアする人が多い。降雨等の天候によるトラブルや、実際に走り始めたら体力がもたなかったという人もいる。トラブルになった人は良い思い出にならない。特にママチャリは坂道がしんどいので、電動アシストのレンタサイクルは良いと思う。(C) ・自転車は車道を走らないといけませんが、縁石沿いに砂や落ち葉が溜まっているので、ブルーラインが引いてあるところを通ると危ない部分もある。歩道が広いところは歩道側に自転車道を整備した方が良い。(D)
外国人対応	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍以前は、外国人のサイクリスト（特に台湾の人）が多かった。(A) ・当社では、英語ができるスタッフが1～2人おり、外国人向けに英語の注意書き等のサインを付けているが、積極的に外国人を受け入れていこうと思っていない。(A) ・しまなみ海道は、直島とは求められているものが違うはず。インバウンドに向けてどういう打ち出し方をしていくのかは正念場だろう。(B) ・コロナ禍で開業したのでコロナ後の見通しとしては分からないが、外国人は欧米豪が中心で、コロナ禍でも半分程度が外国人の利用だった日もあった。コロナ後は2～3割の外国人観光客が見込めると思う。(C) ・外国人はのんびりした旅行を好む傾向にあるが、サイクリング目的でしまなみ海道を訪れた場合は様々な場所に行ってみたい人が多く、しまなみ海道では1泊だけの人が多い。体験や風景等、もっと外国人向けに魅力をアピールし、泊まれる場所だと認識すれば、もっと観光客が増えると思う。(D) ・船の時刻表の英語表記が無いのが困る。自転車を載せることができるか等、

	<p>細かい情報が英語で発信されていない。(D)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しまなみ海道は外国人対応が弱い。日本人のお客さんで成り立っている飲食店が多く、商売としては困ってない飲食店は多いので、プラスアルファの外国人を受け入れようというお店が少ない。新しく外国人対応をしようと思えば、新しい事業者が入ってくるしかない。(E)
しまなみ海道地域内の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの再訪意向で「行ってない場所、やってないことがある」というのは嬉しい評価。(A) ・現状では、地元の人が愛媛と広島の間境を意識しており、県を跨いだ連携ができていない印象がある。瀬戸田の人は尾道を向き、大三島は今治を向っている中で、事業者間の連携が生まれづらい。(B)
周辺地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・尾道の商店街にアンテナショップを立ち上げ、商店街振興組合に入会し、一緒に盛り上げていきたいと思っている。また、広島空港や世羅、三原、竹原等の道の駅に、冬季以外は週末に出店している。売上を上げたいということだけでなく、目的としては HAKKO パークの紹介。道の駅で紹介されてきたとか、尾道のアンテナショップで聞いてきたという声が少しずつ出てきた。道の駅側からも認知されていて、いろいろお誘いしてもらえるのも良い点だと思っている。(A) ・アンケートによると、しまなみ海道と鞆の浦や世羅と一緒に訪問していない。鞆の浦は鯛めしもあり、良いと思う。また、世羅は世羅で独立しているイメージがあるが、マリオットも進出しており、連携していきたい。(A)

(2) しまなみ海道の今後の方向性 (アイデア)

テーマ	ヒアリングで得られた意見
全体方針	<ul style="list-style-type: none"> ・漠然としまなみ全体で観光を盛り上げましょうという前に、一つ一つの競争力を高めることが人を集めるためには大事ではないか。瀬戸田では宿泊施設が増えてきており、まず瀬戸田に来る人が増えて、ついでに他の島に寄ろうという動きが生まれる。それぞれの島が、誰かにとっての目的地になることが大事だろう。(B) ・しまなみ海道は、まだまだ「余白」がある。本当に魅力的な場所なので、もっと観光客が増えてもいいと思うが、それに対するインフラはまだまだ整っていない。地域ぐるみで頑張っていけないといけない。(C)
地域住民の意識	<ul style="list-style-type: none"> ・移住してきた人は、外からの視点で魅力を見ることができるが、地元の人には海があるのが当たり前であり、魅力に気づきにくい。(C) ・地元住民の理解や意識、シビックプライドは大事。サイクリング客や観光客が増えるメリットを享受しない地元住民もたくさんいるので、そこもしっかり配慮して地域を盛り上げていけば良いものになる。マリンスーツツアーを実施したらゴミを拾って帰る等しまなみ海道の環境を守る取組や、サイク

	<p>リングに関わった事業者が納税する自転車税でサイクリングに関係ない人向けの福祉施設の整備をする等、地域の人に必要な施設整備を行うことも考えられる。(C)</p>
魅力を活かす	<p>・少し高い所から海を眺めながら飲食・宿泊ができることをもっと考えた方が良い。しまなみ海道では標高 50m 以上に飲食店は無いかもしれない。しまなみは海沿いの開発しかできてない。本当に景色が良いところ、感動する景色を提供できてないのではないか。(E)</p>
食・宿泊	<p>・車で来る人に向けて、食・グルメが大事だと思う。とりあえずあそこに行けば良いという場所がない地域で、地域の特色を出すために道の駅は有効。新鮮な野菜、柑橘類、魚介類を提供することができ、地域の特色が出しやすい。(A)</p> <p>・滞在型の観光地になるためには、ずっと議論されていることだが、夕食、朝食を食べるエリアになることから始めたい。朝ごはんがおいしいエリアになると宿泊も増えるが、朝ごはんを提供できるのはコンビニくらい。(E)</p>
サイクリング	<p>・宮窪での返却場所が無くなったので、夕日を眺める時間も無く、ゆっくり大島を見る時間が無い。宿泊施設に泊まれるよう 2～3 日借りる方法もあると良い。(D)</p> <p>・緑石の無い自転車道の整備をしてほしい。(D)</p>
しまなみ海道内及び周辺との交通	<p>・広島空港からしまなみ海道へのアクセス整備は、しまなみ海道にとって重要だと思う。広島空港と三原や尾道が高頻度のバスで繋がっていくと、しまなみ海道に来る人も増える。(B)</p> <p>・しまなみ海道内の交通も重要だろう。島がたくさんあり、その間を船で移動し、様々なものを見て回るために、船での移動は強みであり定期航路を残したい。とびしま海道、ゆめしま海道も含め、船による横のつながりを作り、港に無人のレンタサイクルステーションを配置していきたい。現時点では船の情報がバラバラで、英語情報も無いので、愛媛県が開発中の「しまなみ MaaS」等、交通情報の一元化、E チケットの販売等が必要である。(C)</p> <p>・シェアバイク置き場（ステーション）について、公有地が使えないのも課題となっている。現在は民地でやっており、場所が不便だったり家賃が高かったりする。港の駐輪場の目的外利用等、公有地が使えるようになると良い。(C)</p> <p>・交通に関しては、17 時にレンタサイクルを返却した後の交通情報が無い。自転車を返却した後のバスや船の時刻表があれば良い。また、サイクリストは途中でリタイアする人がいる。リタイアしたときの交通マップが必要だろう。リタイアしたときにどうすれば良いか、外国人には教えてもらえず、ほったらかしになっている。(D)</p> <p>・船舶の自動航行（乗組員が乗らずに航行可能な技術）の実証実験を実施し</p>

	<p>たが、現在は必ず乗組員が必要になっている。命に係わることなので安全性の担保が必要ではあるが、短い時間のクルージングで、航行不能になったときの対応条件等を整備して、特区等でできるようになれば良いと思う。(C)</p>
外国人対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ どうやってインバウンドに来てもらうかを考えると、認知度を高める地道な努力が必要だろう。外国人がWEBで瀬戸内サイクリングを調べた時に、直島が出て来るかもしれない。まずは認知から始めたい。(B) ・ インバウンド向けには、瀬戸内全体で周遊する広いエリアでの定番コースが求められる。JRパスに紐づけたルートPR等、交通機関が主導的に展開しても良いと思う。(B) ・ そもそも地域の人も、外国人を助けたい、交流したいという思いはある。外国人が来たら、地域の人も呼んで、コミュニケーションを取ってもらい、島の人が外国人に慣れてもらいたい。しまなみ沿線の人が、英語でコミュニケーション取れるようになったらすごい。そういうしまなみ海道を目指したい。観光客の恩恵を受け始めると地域の人意識が変わってくる。しまなみ全体で外国人を受け入れれば、全体的に意識が変わる。(D)
受入環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ しまなみ海道の公衆トイレは必要。観光施設は洋式トイレにしてほしい。(C) ・ 公衆トイレでは、和式のトイレが多いのも課題。まず、公衆トイレを広い洋式トイレに変えてほしい。サイクリスト向けの施策としても必要だろう。(D) ・ しまなみ海道の公衆トイレは和式が多く、汚れているイメージがあるが、上島町は公衆トイレが7カ所程度あり、どここのトイレも温水洗浄便座を設置しているようだ。山の上のトイレまで温水洗浄便座を使うことができるので、サイクリストにやさしいエリアとなっている。(E) ・ Wi-Fi整備は必須。どんな田舎でもWi-Fi繋がっていると大丈夫。(D)

VI 今後の方策提案

(1) しまなみ海道地域内での方策

○サイクリストの聖地としての展開強化

しまなみ海道はサイクリストの聖地となっているが、サイクリングサポートはまだ充実の余地がある。旅行者向けアンケート調査で良くなかった思い出として「自転車がきつかった」というものがあり、利用者の想定以上にしまなみ海道の自転車道は高低差があると思われ、サイクリングを楽しみにしまなみ海道を訪れた旅行者がサイクリングで残念な思いをしないような取組を行う必要がある。

具体的には、レンタサイクルで使用する自転車の整備はもとより、各ステーションにおける貸出用の電動アシスト付き自転車の拡充、外国人利用も想定したトラブル時の対応（トラブル時の連絡方法の周知、サポート体制の充実）、レンタサイクルステーションからバス等の公共交通機関への乗り継ぎ情報の周知等、サイクリストの聖地としてサイクリングが楽しい思い出になるようなサポートの充実が求められる。

【参考事例】WAKKA（サイクリングサポート）

しまなみ海道の中間地点、大三島のツーリズム総合施設として、サイクリングサポートだけでなく、宿泊事業、飲食事業、ツアー事業、体験事業等、多岐に渡り事業を展開している。

そのうちサイクリングサポートは、サイクリスト専用の自転車積載タクシー、自転車積載ポート、レンタサイクル返却代行（乗り捨て）、トラブル時の出張修理、手荷物の配送、サポートカー等を行っており、しまなみ海道のサイクリングをサポートする体制を整えている。



自転車搭載タクシー・ポート



出張修理、自転車・荷物配送トラック

サイクリストが求める全てのサポートを

初めての方も上級者の方も、安心して最高のサイクリングを楽しめるように、WAKKAはあらゆるサポートを提供します

 ドライブ&ライド リタイア/観光タクシー	 シップ&ライド リタイア/クルージング	 レンタサイクル乗捨て	 自転車当日配送 手荷物当日配送	 出張修理
 サポートカー	 マイカー回送	 リフレッシュパック	 修理ピット	 旅行者様向け

サイクリングサポートメニュー

(出典) WAKKA WEB サイト

○車での来訪者をターゲットとした滞在型観光の推進

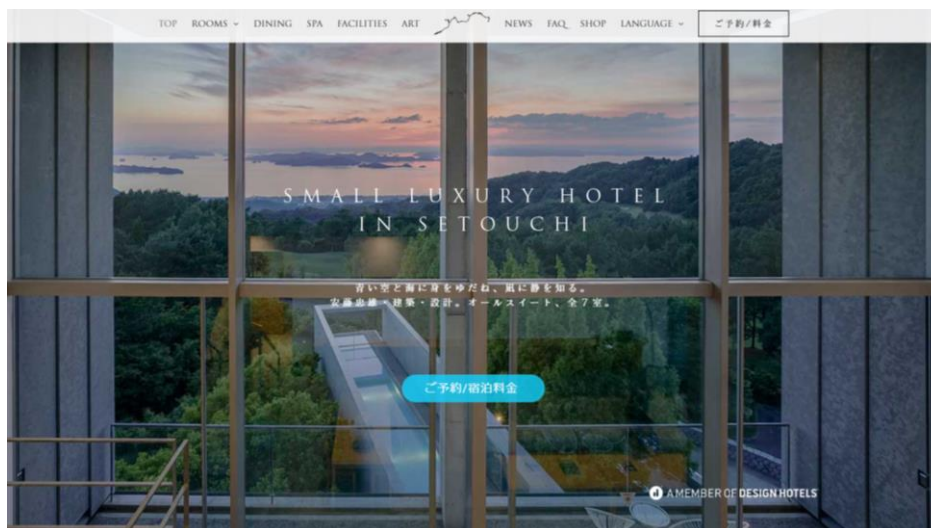
旅行者向けアンケート調査結果において来訪目的で最も多いのは「ドライブ」となっており、ヒアリング調査からも主たる来訪者層は「車利用」との意見が多かったことから、車での来訪者をターゲットとした取組を進める必要がある。また、景色・景観の評価に比べて食や宿泊に対する評価は相対的に低く、食や宿泊の強化による滞在型観光の推進は、地域内消費を高める観点からも重要である。

まず、宿泊者数を伸ばすために、大三島、伯方島、大島等、しまなみ海道の愛媛県側には海鮮料理の評価の高い旅館があり、生口島には近年オープンした宿泊施設がある等、各島での宿泊施設の特徴を把握し、宿泊拠点としてのしまなみ海道のイメージを一体的に打ち出していく必要があり、その際、夕日スポットや特徴ある朝食等、宿泊のきっかけとなる情報を収集・発信することが求められる。また、宿泊の際には温泉を求める観光客が多く、マーレ・グラッシア大三島の営業時間の延長等、宿泊者が利用できる温泉への展開も考えられる。

また、旅行者向け及び事業者向けアンケート調査で評価の高かった「しまなみ海道の景色」を活用したサービス業の展開も必要であり、高台や斜面地等の展望の良い場所への飲食店や宿泊施設の誘致等、瀬戸内海の眺望を楽しめる場所を各島で整備していくことも必要である。

【参考事例】瀬戸内リゾート 青凧

松山市郊外のゴルフ場（LPGA ツアーコース）の敷地内にあるスモールラグジュアリーホテル（全7室）であり、建築家安藤忠雄氏設計の元美術館をリノベーションしている。建築の魅力とともに、瀬戸内海の眺望を体感する高台からの眺めが魅力となっている。



（出典）瀬戸内リゾート 青凧 WEB サイト

○しまなみ海道の移動手段の多様化・利便性強化

しまなみ海道の観光振興における課題としてヒアリング調査で挙げたのは交通に関することであり、レンタサイクルの課題以外にも、公共交通の利便性向上に向けた取組が必要であることが分かった。

船については、しまなみ海道の各島へ様々な航路があり、分かりにくさが指摘されていることから、

航路利用促進のためにも観光客に分かりやすい情報提供が求められる。また、港を拠点として周遊することを考え、バスやレンタサイクルの他、カーシェア等新たな移動手段を港周辺に配置し、しまなみ海道内の周遊を促すことも必要である。

また、現時点では発券機が無い（船内で購入する）場合もあり、初めて利用する観光客に利用しやすい仕組みとは言えない状況にあることから、愛媛県で2022年に実証事業を行っているMaaS（Mobility as a Service：様々な移動手段を組み合わせ1つのサービスとして提供する仕組み）をしまなみ海道地域全域で整備する等、船、バス、レンタサイクルが観光客に更に使いやすい移動手段となるような仕組みづくりが必要である。

○インバウンド（外国人観光客）対応推進による新たな顧客層の創出

コロナ禍以前は、しまなみ海道には主にサイクリングを目的とする外国人観光客の来訪があり、ゲストハウスでは欧米からの観光客の宿泊もあった。コロナ禍収束後、外国人観光客が再び増加することが想定される中、国内旅行需要への対応が中心となっているしまなみ海道地域の観光事業者においても早々に外国人対応を始めることが重要である。

飲食店においては、英語メニューの作成及び店頭での情報発信を行うだけでなく、ベジタリアンに対応したメニューの整理（現在のメニューでベジタリアン対応しているものにVマークを付ける等）を行うことが推奨される。接客時の言語対応については日本語の接客を行うことにより日本人と同じサービス提供を行うことが求められるが、コミュニケーション手段としての翻訳アプリ等のツールは準備しておきたい。

また、今後、台湾や香港からの観光客を中心に外国人観光客のレンタカー利用も増えることが想定され、しまなみ海道の「食」情報を、現地で、多言語で提供していく必要があるが、Google map等の利用者の多い既存情報サービスを活用しつつ、周知を図りたい。

【参考事例】 上質な宿泊施設の開発促進事業（観光庁）

上質な宿泊施設の誘致に意欲的な自治体等と、宿泊施設運営会社やデベロッパー等を引き合わせる場を提供するモデル事業において生口島（南小学校）が候補地として選定されており、今後、インバウンド対応の宿泊施設整備が期待される。

④生口島(旧瀬戸田南小学校跡地)1/2

土地情報	
所在地	尾道市瀬戸田町菟子前田2576番0、2、1 ※旧瀬戸田南小学校跡地 Google map URL: https://goo.gl/maps/hWpmlFHeTuaU3ab29
所有者	尾道市
事業者が開発する場合の権利形態の想定	開発事業者の希望により、売却でも賃貸借でも柔軟に対応
開発規制	非線引き都市計画区域内、用途指定なし(ホテル建設可) 建築率70%、容積率400% 景観計画区域内(景観地区外) 宅地造成工事規制区域外 敷地面積が3,000㎡以上で区画形質の変更がある場合は開発許可を要します。 ホテルの規模によっては建築基準法の接道長4m以上を要します。 敷地の一部に土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の指定があります。
インフラ整備状況	電気・水道は完備。ガスはプロパンガス。
主要交通結節点からの交通手段	車で、広島空港から約1時間、JR尾道駅から約40分
温泉資源	なし



（出典）上質な宿泊施設の開発促進事業（観光庁） WEB サイト

○地域住民の「誇り」に繋がる観光振興

地域を訪れる観光客は、観光産業従事者にとっては「お客様」であるが、環境や景観への影響懸念や不特定多数の来訪による不安等、地域住民にとって生活を脅かすものとなりかねない。しまなみ海道地域の魅力である景色、漁業や柑橘等の一次産業の産品、様々な文化体験等を活用していくためには、地域住民の理解や協力が必要であり、今後の観光振興は地域住民とともに進めていくことが望ましい。

最近、サステナブルツーリズム（持続可能な観光）やレスポンスブルツーリズム（責任ある観光）等、観光地の環境を維持し、保護・保全していくために、観光客自らも意識や行動に責任を持つ考え方が示されており、しまなみ海道の観光振興においてもそのような考え方は必須となる。観光客が、海岸清掃や自転車道整備、農地保全等に関わり、地域内の環境保全に寄与するような取組も期待したい。

また、観光客からの良い評価は、地域住民の誇りとなる。特に外国人観光客から「しまなみ海道は素晴らしい」という感想を直接聞くと、地域の自信・自慢（シビックプライドの醸成）に繋がる。観光振興を地域住民とともに進めるために、飲食店やゲストハウスのような宿泊施設では積極的に地域住民と観光客の接点を作り、交流の時間を増やすことにより、地域住民のシビックプライド醸成に繋げたい。

（２）しまなみ海道地域周辺地域を含む方策

○周辺地域との連携による拠点性の強化

しまなみ海道の観光振興の課題は通過型観光地であり、滞在・宿泊が少ないことである。この滞在・宿泊を増やすためには、しまなみ海道が拠点となり、周辺地域も含めて周遊を促すことが必要である。旅行者向けアンケート調査において再訪希望は非常に高く、その理由として「まだ行ってない場所がある」ことが上位に挙がっているように、しまなみ海道地域そのものが広域であり、一度では全てを訪問できない「心残り」のある観光地となっていることから、周辺地域を含む広域的なエリアでの集客を推進することで、何度も訪れるリピータブルな観光地になる可能性がある。

その際、広島空港や福山駅等、各地のゲートウェイからのアクセスが課題となっている。広島空港から三原・尾道へのバス便としまなみ海道への接続、福山駅からの直行バス又は尾道駅を経由したアクセス等、周辺からの様々な手段でスムーズにしまなみ海道へ到達できるよう、アクセス整備が求められる。

しまなみ海道地域の拠点化に向けては、宿泊施設の整備とともに、尾道、今治だけでなく、福山、世羅、三原、竹原、松山、東温等の自治体や観光協会とともに、しまなみ海道周辺地域としてセットでプロモーションを行う等、瀬戸内の観光エリアの1つとして認知度を高めていく必要がある。

○瀬戸内広域周遊の推進

瀬戸内らしい観光地としては、しまなみ海道もサイクリストを中心に有名な観光地となりつつあるが、直島や宮島の知名度には及ばない状況にあると思われる。しまなみ海道の観光振興に向けて、瀬戸内エリアにおける観光地としての位置づけを高めることも重要であり、直島～しまなみ～宮島と連

携した瀬戸内広域周遊ルートの確立が求められる。

広島県尾道市にあるペラビスタマリーナを母港とするガンツウ（guntû）は、瀬戸内を広域的に周遊するクルーズを展開しており、多くのルートでしまなみ海道周辺を航行している。2025 年の大阪・関西万博開催に向けて、大阪から西へ向かう瀬戸内周遊にも期待が膨らむ中、瀬戸内周遊コンテンツの 1 つとしてしまなみ海道が位置づけられるよう、ガンツウだけでなく、鉄道・船・バス・自転車等多様な交通手段を活用した様々な旅行商品企画の実施も必要である。